

「人の子（キリスト）が来たのは、仕えられるためではなく、
かえって仕えるためであり、また、多くの人のための
購いの代価として、自分の命を与えるためである」

（マタイ 20：28）

ハレルヤ！ 今、日本に向かう飛行機の中です。この夏、エミリと初の1ヶ月日本滞在、たくさんの企画ありました。私自身の不十分さはあるものの、すべて祝福の内に終えられたと思い、ホッとしつつ、神様に感謝しています。京都路傍伝道、チア・サポートスクールの富士登山&英会話キャンプ、第5回チア東北サポートと恵みの中で終わりました。チア・オリムピック（10月1日）、第6回チア東北サポート（10月17日～）、そして白馬セミナーも近づいてきています。みなさんのご参加とお祈り、どうぞ、よろしくお祈りします。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

《今月の巻頭言》

- 1 映画「アメイジング・グレイス」試写会上映権、
扉開かれる……………P2
- 2 京都伝道……………P3

- 3 山口内閣府副大臣からの3つの教訓……………P4
- 4 富士山麓英会話&登山キャンプ、第5回チア東北サポ-
ト……………P4～5
- 5 第5回チア東北サポート……………P5～10

苦難の意味 — ドジャー・スタジアムの
カクテル光線の中で

ロサンゼルスに戻り、ドジャー・スタジアムで初めて開催されたハーベスト・クルセードに家族で参加しました。ドジャー・スタジアムは、15年前、がんを克服してキャプテンに返り咲いたクリスチャン、ブレット・パトラー選手の取材で1年間通い続けた、懐かしい場所です。当時、野茂英雄投手は、病氣と闘うパトラー選手を尊敬していて、その彼を取材する私にもインタビュー等協力してくださいました。後日、ロッカールームからグラウンドに向かう階段で、福音のパンフレットも受け取ってくださいました（お祈りください）。その思い出深いスタジアムです。

アメリカ人には特別な日となった「9・11」10周年の前日。スタジアムには5万人が押し寄せ、開演30分前に着いた我が家は、特設ステージの後ろしか見えない、外野席後方の4F席のスタンドに座り、大型スクリーンで見るといほどの盛況でした。

最初、賛美に登壇した一人、100万枚の大ヒットを飛ばし、グラミー賞も獲得しているカーク・フランクリンは、「自分は、麻薬中毒者になった母が15才の時に生まれ、父親が誰か、わからない。自分も罪とあきらめのぼろぼろの人生の中で、親友が撃たれて死に、キリストを救い主と信じた。その後、神様は、大ヒットのチャンスくれた。とはいえ、自分は、完璧なクリスチャンじゃない。大きな失敗もした。でもキリストの血潮で今、自分は赦され、こうして生き、神を心から讃える場が与えられ、天国で生きることができる」。



ドジャースタジアム内に向かう、キリストを初めて信じた6000人－5万人参加のハーベスト・クルセードにて

20年以上、このクルセードを続けてきたグレッグ・ローリーは言いました。「私の母は7回、離婚しました。そんな母と一緒に、転々としなければならなかったのが私です。母は麻薬中毒で、私もそうでした。その後、クリスチャンになって本当に良かった。でも、悲しみもありました。3年前、33才の長男が交通事故で命を失った。それは私たち夫婦にとって、今も耐えがたい悲しみです。この世で、なぜ、神様は苦難を許されるのでしょうか。答えは、『私は、わからない』です。でも、わかることは、神様の計画は完全で、そうしたすべてを通して、私たちが永遠の絆を持とうとされていることです。この世のものは過ぎ去ります。しかし、キリストとのきずなは永遠

に続く。そのために、キリストが私たちのすべての罪を背負い、私たちの外的歩み、罪を赦すために、身代わりとなって罰を受け、十字架の上で死なれ、復活されました。そのキリストを信じる者が、誰でも、罪赦され、新しい人生に入り、永遠の命をもって、天国に行けるために。グレッグのシンプルなメッセージに応じ、5934人が、「初めてキリストを信じます」と表明し、スタジアムのフィールドに下りました。その数があまりに多かったため、消防法上の問題で、希望した多くの人々がフィールドに下りられませんでした。それで、実際の決心者はもっと多かったと言われています。20年以上、続いてきた大会の歴史の中で初めての出来事だそうです。最後に、今、全米のクリスチャンシンガーでトップといわれている、クリス・トムリンの賛美で神に心を向けました。カクテルライトに照らされた緑の芝生が、とてもきれいでした。和紀子とエミリとジョセフと共に、賛美しながら、神様に感謝な、さわやかな思いでいっぱいになりました。

映画「アメイジング・グレイス」 試写会上映権、扉開かれる！

1ヶ月さかのぼって8月上旬。日本到着から2日後、エミリを連れて、バンダイ系列の映画会社ハピネット社へ向かいました。映画「アメイジング・グレイス」の「全国試写会+DVD販売会」のライセンス契約を希望してミーティングです。ソニーから、映画「ファイアー・ストーム」らのライセンスが与えられたように、新作の「アメイジング・グレイス」が与えられれば、全国の教会やグループで、合法的に、この作品をも上映できるようになります。

「アメイジング・グレイス」は、今春、チア・マガジンや「ライフ・ライン」TV等で紹介させていただきましたとおり、すごく励まされる実話です。良いことをしようと思っても、なかなか道は開かれない。「奴隷解放」の志を与えられた国会議員、ウィルバフォースは、讃美歌「アメイジング・グレイス」を作ったジョン・ニュートンに教を請います。奴隷船船長だったジョンは、2000人の奴隷たちの命を死においやった、その後悔と罪の苦しみの中で、キリストを信じ、驚くばかりの恵み（アメイジング・グレイス）を、体験します。そのジョンに励まされ、仲間たち、奥さんと、志を共にする仲間がポツリポツリと与えられ、迫害、病気、失望と、困難が続くウィルバフォースは、20年あまりの時を経て「奴隷売買禁止法」を可決、「奴隷解放」の扉が開く、大きなきっかけとして用いられます。キリストの励まし、アメイジング・グレイスの中で、「ファイアー・ストーム」らと同様に、また別の切り口から、多くの皆さんを励まし、キリストの福音を伝えることに用いられていくこととなるのではと思い、ライセンスを申請したのでした。（作品の詳細は22ページ）

映画会社との会議。エミリをインターンとして連れていくことを、Aさんは、快く受け入れてくださいました。「（エミリ）ダディ、私はどうしてたらいい？」「とにかく大事なミーティングだから、ずっと横で、祈っててくださいたらいいよ」「わかった」。その日、35度の猛暑の中、汗だくでバンダイ・ハピネット社に向かいました。



映画「アメイジング・グレイス」より
(c)2006 BRISTOL BAY PRODUCTIONS LLC. ALL RIGHTS RESERVED.

ミーティングは順調に進みました。「（エミリ）アメイジング・グレイス、許可下りるんじゃないかな？ Aさん、いい感じで受け取ってくれたみたいだったよね」「（稲葉）まだ、先方の社内での会議あるから、わからないけど、Aさんは確かに、いい感じで受け止めてくれた。今日のミーティング、成功だったと思う。祈っててくれてありがとう！」「（エミリ）3分の1ぐらいの時間しか、祈れなかった。会議の内容を聞いてたから」「（稲葉）それだけ祈っててくれれば十分だよ」。それから5週間後、9月15日。「アメイジング・グレイス」の「全国試写会+DVD販売会」の扉が開かれました。（試写会詳細は23ページ）

ティーンに絶対見せたい映画、エミリと観る 「96時間」はすべてのティーンに見せたい！

ティーンになったエミリと過ごす時間も少なくなっていました。この機会、すごい感謝でした。見せたいと思っていた映画を2本、一緒に見ました。

ひとつは「96時間」。大型予算の作品ではありませんが、現実感があり、アメリカでは秀作として大ヒットしました。見てなかったエミリは「こんなことがサンフランシスコとかにはあるって、聞いてた。だから驚かないけど、、、でも、良かった」。エミリにも、じっくり見せられて良かったです。

作品は、東欧の売春&麻薬組織に、パリ旅行中にさらわれた娘を取り返す、アクション系の映画です。暴力シーンがあるので13才か15才以上の限定です。でも、世界の現実を知る意味で、ぜひ、見せたらと僕は思います。

短気は損気 — チェンジング・レーン

もう一つ、エミリと観たのは、「チェンジング・レーン」。これも、アメリカでは実際、よくある出来事ということもあり、ヒット作となりました。小さい頃、「短気は損気」と母によく教えられましたが、高慢になったり怒ったりした結果、刈り取る、惨めな状況を上手に伝えます。正義や家族の大事さに立ち返る必要のメッセージと共に。これは暴力等はありません。でも、ストーリーをよく理

解し、ついていくためにも、やはり13才以上の限定ですが、お勧め作品です。エミリ「良かった」とのことで、2人で観れて良かったです。ほかに、「旧約聖書10」を一緒にやったり、朝、一緒に運動公園に行き、鉄棒でケンスイしたりして、これも恵みでした。

京都伝道

12日(金)、いよいよ、京都伝道へ。ナタンチームらが4週間あまりかけて行っている夏のトラクト配布に合流したのでした。もっと早く行きたかったのですが、その週、仙台での映画のミーティング、前号のニュースレターの制作の遅れとスケジュールがおして、遅くなり、2泊3日だけの合流でした。2年ぶり来日のエミリと会いたいとのことで、大阪の純花ちゃんも合流することになりました。今、17歳ぐらいかなと思っていたら18歳、来春めざして、受験勉強中と聞いてびっくりしました。

京都は猛暑。汗が滝のように流れて、紺色のシャツは汗が塩となって、白い模様ができます。それぞれのご自宅のポストに福音の書かれたパンフレットを入れるのですが、効果的で、必要な伝道だなーと思いました。「そのまま捨てられるパンフレットもあるだろう。でも、疲れて外から帰ってきて、ご飯も食べて、それから、どれどれ、とパンフレットを読む人も多いだろうな。あるいは、聖書のパンフレットがきたなーと心に留める人、必ずいるだろうなー」と思ったわけです。

とかく人目を気にしたりする日本人の習性があると思うので、家で読めるのは良い点。また、「キリスト教なんて、宗教の一つ」みたいに無関心を装うことが正しいことと信じ込まされているケースが多いと思うので、自分からは積極的に求めないケースが多いと思うので、宅配できるも良い点。

私たちクリスチャンの過失であり、責任であると思いますが、日本人には、まだ聖書や福音がしっかり伝えられていないで、それゆえ、様々な誤解や偏見を生んでいるケースが本当に多いのだと思います。僕も、大学2年までは、無知による偏見を持っていました。でも、魂の求めというか、特に今年は震災とかあり、人生や命の意味を考えている方が多いと思います。京都の町で、行き交う人々にパンフレットを渡すと笑顔で受け取ってくださる方が多かったです。

50-60代の白いかっぱを着た料理人と思われる方が暑い駐車場にじっと立っていました。近くで、スピーカーから鳴らされる聖書からのメッセージにじっと耳を傾けていました。

「これ、スピーカーで流れている内容をまとめたパンフレットです」と言って渡すと、「ありがとうございます。お疲れ様です」と受け取ってくれました。10分ぐらい、パンフレットを配って、さっきの駐車場を見ると、料理人の方が立ち続け、パンフレットを熱心に読んでくれていました。

クイズ：50-60人で4週間配ったら、
何枚配れたか？

下旬のチア・サポートスクールでの富士山麓英語キャン

プでメッセージの機会がありました。そこで、京都伝道に関連したクイズをしました。「入れ替わり立ち替わり50-60人で4週間(日曜と雨天を除く)、パンフレットを配ったそうですが、何軒に配れたと思う?」「20軒?」「え、4週間配ったんだよ」「500軒」「2000軒」「5000軒」「1万軒」、…。答えは「59万8000軒。約60万軒」でした。すごいことだと思いました。ナタンさんいわく、「ふと見ると、参加者50-60人のうち、20人ぐらい、チアのみなんだった日もある。とてもうれしかった」とのことでした。

まだまだ、明確に知られていないイエス様の福音、明確に伝えていけたらと改めて思いました。ちなみに、夜は、エミリが教えた「Ninja(忍者)」ゲームという、団体でやると楽しくて、アメリカのユースグループで流行っているゲームが女子の間で大流行り。それも良かったです。

父母を敬うこと

日曜に帰京。月曜日、エミリを伴い、朝8時出発で、映画のミーティングへ。夕方から、弘前の実家に向かい、2年ぶりにエミリをおじいちゃん、おばあちゃんに会わせることができました。今年、金婚式ということで、前から頼まれていた、僕の撮った父母のスナップ写真を引き伸ばして額に入れ、プレゼントすることもできてほっとしました。「父、母を敬いなさい」をエミリと体験できて良かったです。

その後、弘前から仙台、丸森に移動し、「GrapeSEED」国際大会、明泉学園理事会等に出席しました。その間、エミリは丸森で、ベビーシッター等して、これも良き喜びと訓練になったようです。後の英会話キャンプでも低学年担当となったエミリ。子どもたちを助けることにめざめたのか、アメリカに帰国後、教会学校の教師に立候補、良かったなと思いました。

札幌へフジテレビで流された、聖書のことば

日曜日は仙台での礼拝を終えて、札幌へ。知人のBさんに連れられて、エミリが食べたかった札幌ラーメン。そして翌日、小樽の祖父母の元へ行きました。ここでも一緒にランチを食べにいたり、良い時が許されました。義父さんが、「チアの震災ボランティアとか、とにかくすごい！ たいしたもんだ。エミリ、今度行くのもすごいよ。アメリカでも観ただろうけど、日本の映像、この番組よくまとめているから観なさい」と薦めてくれました。震災後、5ヶ月を特集したフジテレビの番組でした。最後、びっくりしたシーンがありました。母と弟を失った中高生の姉妹のドキュメントが続き、お父さんと花火大会に行きます。3人の肩越しに写されているのは、ライトアップされた聖書のプラカード、「悔い改めなさい。神の国は近づいた」。3人が、その聖書のことばに向かって歩く、そんな映像でした。この映像を撮ったカメラマン、そして指示したディレクターや編集マン、チェックしたプロデューサーたちのねらいや気持ち、また、そのように導かれている日本の今、とても尊いと思いました。

富士山麓英会話&登山キャンプ、
第5回チア東北サポート

そして迎えたチア・サポートスクールの富士山麓英会話&登山キャンプと第5回チア東北サポート、恵みの中で終わりました。それぞれ、定員いっぱいの参加の中で、有意義でした。たくさん、ありますが、今回はその一部の紹介だけをさせていただきますね。

山口内閣府副大臣（復興等担当）との ミーティング

今回、初めて迎えることとなったアメリカのホームスクーラーたち5名。成田空港で迎えた翌日、まずは日本について祈ろうということで皇居へ。そして、永田町へと向かいました。

内閣府副大臣（復興等担当）の山口つよし副大臣が会ってくださることになっていました。国会で懸案だった3法案の成立が大詰めで、前首相が辞任が予定され、新首相選出の動きも盛んな緊迫した週であり、道は難しいとも思えました。でも、山口副大臣なら、今回の意味や意義を理解して、会ってくださる可能性ありと思い、以前から、コミュニケーションさせていただいていた秘書の羽鳥さんに打診していたものでした。

山口副大臣は、元々、外交官出身で、尖閣諸島問題の時は、政府から密かに中国に派遣されたりといった海外の事情通であり、また、震災直後から復興問題に率先して取り組み、抜擢されていた方です。全米250万人のホームスクーラーたちの思いを代表して日本に来てくれたティーンたちを、励ましてくれるのではと思ったわけです。上記の通り、緊迫した週となり、前日は羽鳥さんから、「稲葉さん、やっぱり明日は、スケジュール的に無理です」とのことでした。「(稲葉) (議員会館ではなくて) 実際に副大臣室に伺って、数分、お会いするというのは、いかがでしょうか？ ちろん、無理無理でなくていいですが、...」(羽鳥) 副大臣室は私も行った事がないので。でも調整してみます。そして、数時間後、「(羽鳥) OKになりました」と道が開かれました。

山口内閣府副大臣からの3つの教訓

「(5人) オハヨウゴザイマス。キョウハアリガトウゴザイマス。ヨロシク、オネガイシマス」。5人は、一生懸命、練習したことばで上手にあいさつ。笑顔の山口副大臣に迎えられました。自己紹介のあと、英語でのミーティングが始まりました。

「(稲葉) 何か、5人へ、山口副大臣から励ましのことばをいただけますでしょうか」

「(山口) そうですね。みんなには外国語の学習することを励ましたいね。みんなの将来のチャンスを大きく広げることになるだろうから。みんな、何かやっていますか」

「(キャリー) 私はフランス語」「(ダニエル) 僕は中国語」「(山口、中国語で) そうか。何年ぐらい勉強しているの?」「(ダニエル 中国語で) 4年間です。2ヶ月ほど、中国に行って学んだこともあります」「(稲葉) 山口副大臣は、去年、日中間が国境問題でこじれたとき、中国への密使として送られたんだよ。中国語を会得してき



山口社内閣府復興等担当副大臣と5人のUSAホームスクーラーたち

たことも大きく用いられたね」「(ニコール) 私はスペイン語」「(エミリ) 私は日本語のリスニングなら、大体よくわかります」「(アビー) 私はスペイン語です」

「(山口) そうか。あと、祈ることも大事だね。僕も、クリスチャンなのです。イエス様に、毎日、祈ってるよ。祈らずにいけないかな」「(一同) それは、素晴らしい」

「(山口) この後のスケジュールは?」「(稲葉) 今夜から富士山麓に行き、日本のホームスクーラーたちの英会話キャンプで、子どもたちを指導します。来週の月曜から金曜までは、陸前高田、釜石、気仙沼、仙台市若林区といった被災地に行って、物資の支援や泥かきとか、ボランティア活動を行う予定です」「(山口) そうですか。感謝なことですね。富士山といえばね、学生時代の恩師に言われたことが忘れられないです。富士山は、裾野が広いから、高い山として存在できる。みんなも様々なことに挑戦して、裾野を広げていくと、そのうちにいろんな出会いや発見があり、高く伸びていけるよって。様々なことに挑戦して、裾野を広げつつ、そして神様が教える道に進んで行ってください」「(一同) わかりました。ありがとうございます」

その後、羽鳥さんと衆議院の国際局の通訳の方の案内で国会見学。「(羽鳥) 通訳の方が、彼らがあまりに礼儀正しく、熱心に話を聞き、しっかりしつけられてるので驚いたって言った。アメリカ人の皆さんって大変なケースが多いらしくって、ちょっと身構えておられたみたい(笑)。でも、私も彼らは礼儀正しいので関心してました」「(稲葉) それは、クリスチャンのホームスクーラーとして、うれしいな。学校任せ、他人任せにしないで、親たちが責任をもって教えていこうという、聖書に立ち返った教育をめざしているのです。そんな風に言ってもらって感謝です。今日はこの緊迫した週に、山口先生との時間、設けてくださり、本当にありがとうございました」

(新内閣発足後、山口副大臣は外務副大臣に起用され、オバマ大統領と野田首相、クリントン国務長官と玄葉外務大臣らとの首脳会談をアレンジしています。)

5人のUSAホームスクーラー、がんばる — 富士山麓英会話キャンプにて

国会を後に、英会話キャンプへと向かいました。チア・

サポートスクール (CSS) ・富士山麓英会話&登山キャンプ、アメリカから5名のホームスクーラーを迎えて30名のキャンプ。5人ががんばってくれて、バスの中から、This is USA!の空気をクリエイトしてくれました！ クリスマスソング、アワナミュージック、早口ことばやゲームほかの連発でシャウト・ジョイ・エキサイトの連続！ あまりの明るさと積極性に、ちょっとおじけづいちゃうほどのパッションと元気です。みんな、ついていけるかなーと思いつつも、「これこそ、アメリカだからなー。最初は、ついてけなかったり、もっと英語話せれば、彼らのように恥ずかしがらず、ものおじせず、もっと、のびのび、堂々とできる、って悔しく思ったりするかもしれない。でも、その異文化体験は絶対、いいこと。僕自身、そのギャップを体験したのは大学に入ってからだった。今回、9-20才の参加者が、ここで、それを体験できるのはすごいことだなー！」って思いました。堀井卓CSS校長いわく、「生の英語、すごくいいですね。というか、ほとんど聞き取れないし、ついていけない。英会話のクラスでデルさんが話してくれてる英語はわかるんだけど、それは、日本人にわかるように話してくれてるんだって実感した。これ、本場って感じで、とってもいいですね！」。何人かの子もたちに聞いてみると、「アメリカって感じで、まったく違う世界ですごくいい」「来てよかった。もっと、英語話せるようになりたい」「なんか、楽しい！」と、思ったより、好評、ポジティブでびっくりしました。

2日目午前は、年齢別3つのグループに分かれて、デル先生の授業と各グループの創作英語劇の練習の並行レッスン。これがまた、すごく良かった。各グループに5名のUSAホームスクーラーがリーダーとして入り、劇づくり。9-12オクラスは、担当のエミリが「聖書のストーリーに挑戦したら？」と提案。「モーセの奇蹟」、「ノアの方舟」、「ダビデとゴリアテ」とか、案は出てきたもののまとまらず。僕はカメラ撮影しながら、(その3つを短く、全部やればいいのになー) と思いましたが、口をはさまないでおきました。その時、ちょうどエミリから、「ダディ、どう思う？」と来たので、「すごくいいアイデアだと思う。短く、みんなで、全部、やったら？」、...。以下、次号NLへ。

そのあと、午後の雨の中のゲーム&スポーツもとても楽しかったです。そして3日目の富士登山。雨中決行で、U13グループは、5合目ハイキングコース。ティーングループは、6合目をめざしましたが、途中、3人の下山グループを生み出しつつも、一気に7合目まで登りきることに成功！ その後、途中下山グループにも、心が謙遜にさせられるドラマが、、、と、両チームにも劇的な体験がありました。これも詳細は、次号NL巻頭言で紹介しませぬ。

とても感謝な英語&登山キャンプでした。

続いての第5回チア東北サポートも、今回、初めてのUSAチームも加わっての26名での遠征、神様に助けられてのすごい恵まれた時を過ごして帰ってきました。これまでのボランティアで仕えてきた被災者のみなさんとの絆が一層、強められたという印象です。東京→仙台→陸前高田、大船渡→釜石、陸前高田→気仙沼・南三陸→仙台・若林区→仙台・丸森→東京の行程を5日間で走破。毎回、神様に祈られ、より頼みながらの日々でした。これまでに比べ、被災者の皆さんが、たくさん話してくださる機会が各地で与えられました。釜石で物資の配給後、座り込んだおじいちゃんは、津波に飲まれ、腰や足の骨を折りながら助かった状況を分かち合い、仙台市若林区で泥かきをした家のご主人は、「地獄絵だったよ！」と、被災した夜、暗闇の中から助けを求める声が続き、たくさんの遺体が浮く中、船をこいで20人あまりを助けた体験を話してくれました。それから、アメリカチームらを中心に、聖書や、手作りの聖書のことば集とか、パンフレットを手渡して喜ばれる機会ともなってきました。これも詳細は、後ほど、レポートしますね。

第4回東北サポートの報告

少し、時間はさかのぼり、前号のニュースレターでお約束しました、第4回東北サポート(6月13日~17日)についてレポートしますね。

マンションの人々や 果物屋さんのエールを受けて

初日の朝。東京、チアにっぽんオフィス前に「キリストを信じる者はみな、永遠のいのちを持つ 聖書 (ヨハネ 3:15)」ほか、聖句が大きく書かれた4トントラックが登場。積み込みから始まります。マンションの管理人さんと話していた婦人が近づいてきて、私に「今、聞きました。被災地に行かれるのですね。私たちの代わりに行ってくださってありがとうございます。これ、私の気持ちです」と1万円札を渡してくれました。「(稲葉)ありがとうございます。お名前か、部屋の番号を」「いいえ。いいのです。自分は何もできなくてとっていたので、... 本当にありがとうございます」と言って、小走りに去っていかれました。向かいの野菜&果物屋さんの渡辺さんが、メロンやすいか、さくらんぼ、りんご、ほうれん草、ねぎ、かぼちゃ、...、そのほか、市場で買ってくることをお願いしていた9万円分の野菜と果物を持ってきてくれました。「これ、私たちからの気持ちです」と野菜や果物、さらに5、6箱も持って



チア・サポートスクール 富士山麓英会話キャンプ

きてくれて、とても感謝しました。

釜石：地域の人々の顔がわかるようになった

仙台を經由して、北上し、一路、岩手県住田町へ。2日目の支援地、釜石では、浜町の町内の人々に3度目の支援物資の支給、4トン分。もう3回目なので、だんだなじみになってきて、心の交わりが深くなってきました。

10時開場ということで、9時ごろ着いて、物資の準備。4トン分なので、かなりの量です。特に、夏服1トン半(明泉幼稚園から)や、カットの必要なメロン、すいか、かぼちゃらは、超忙しい状況。顔なじみになった町内のご婦人たちが、すでに9時過ぎから、並んで待っていてくれます。いつもどおり、町内放送をかけてくれて、約60名あまりの皆さんが集まってくださいました。

10時。まず、町内会長のAさんが歓迎のあいさつをしてくれました。その時、最初から並んでいたB婦人がちょっと怒った感じで叫ばれました。

「Aさん、ぜひ、家流された人、優先させてください。この前も、家流された方が、後ろになって、必要なものもらえないことがあったし。私、泣きたくなる。お願いします」

A会長は、「そうですね。皆さん、そのようにしましょう！」と答えられました。水産加工場がつぶれたり、街全体が不況で、経済的な被害も加えると、町全体、全員が被災者で、痛みの中にあります。その一方、直接、津波で家族や家、船、車等を失って、仮住まいをしている人々と、波がぎりぎり来なかった人々では、格差もあり、微妙に複雑です。その後、A会長は、前回に続き「それでは稲葉さんに一言、お願いします」と紹介してくれました。

「(稲葉) 皆さん、今日で3度、みたび、お目にかかれてとてもうれしいです。今回も、温かく迎えてくださって、本当にありがとうございます。皆さんが大変な中にいるのに、僕たちは、何もできなくて恐縮しています。全国のクリスチャンたちが、何もできないけど、少しでも、寄り添わせていただきたいという思いから送ってくれた物資や義捐金を届けつつ、若者たちも含めて、ボランティア活動をさせていただいて、微力でも、手伝えればと思って来ています。でも、ほんの微力で、お祈りしていますという気持ちしか表せませんけれど、今日もどうぞ、よろしくお願いします」。約60名の皆さん、あたたかく聞いてくださいました。これまでもそうでしたが、これまで以上に、皆さん、お互いを気遣いあって、また、私たちに感謝して、4トンの物資を喜んで持ってってくださいました。何度も、お礼を言って。

気持ちを正直にぶつけてくれた、まぐる船主の婦人

後でA会長は2人になった時に話してくれました。「さっきのBさん、気持ちを正直にぶつけてくれてうれしかった...。今は、それが大事なんだよね。あの方は、まぐる漁船を十数隻所有されている、多分、全国でトップ3ぐらいに入る大きなまぐる漁船の船主の奥さん。でも、今回の被災は甚大で、今、町内の親戚の家に仮住まいして

おられる。震災の被害も深刻だし、すごく気も張って、疲れも出てる時だから...。あのよう、みんなの前で気持ちをぶつけてくれたことをとてもうれしく思っているんだ」とのことでした。

ご主人が流された漁具店夫人から、もぎり(漁網用のナイフ)を買えた!

後片付けをチームに任せて、A町内会長さんに連れられて、釜石で1軒だけ残った漁具の店を訪ねました。翌日伺う予定の牡鹿半島の侍浜の漁師さんたちから、「網を切るナイフを買ってきてほしい」と言われていたからです。東京の工具店等、あちこち探したけれど見つからず、インターネットで見つけた漁網用のはさみ30丁は購入したものの、これでは、太いロープは切れないかな、と思いました。そんな時、震災の番組の中で、漁師さんが腰から、短刀を抜いて、綱引きに使うような太いロープを簡単に切っていた映像を見ました。「多分、これだろう!」と思い、映像を見せてくれた神様に感謝しつつ、これなら、漁業の本場の釜石に行けば、あるかも、せっかくリクエスト受けたのだから、手に入れたいと思っていたわけです。それでA会長さんに話して、心当たりの漁具店を調べてもらっていました。

支援物資の配給時間中にA会長は、漁師のCさんと再確認、Cさんは今回、浜で拾ったという柄の断片をみせてくれて『もぎり』っていうだけだね。買うのは、刃だけでもいいんだよ。柄は漁師が自分で作るんだ。最近は何もなくて、柄つきのものを買う人も多いいだけだね」「(A会長) Dさんのとこならあるかな」「(Cさん) うん。あそこにはあるよ」と教えてくれました。それで、B会長に連れられて、D漁具店へ。浜町の港のすぐそばで、多くの人々が亡くなった場所です。まわりは、物資支援をした所より、さらにひどい、がれきの山と全壊、半壊家屋が続く商店街です。D漁具店は、建物と2階部分は大丈夫で、従業員の方が、「もぎりナイフはあるよ!」と2階から持ってきてくれました。津波をかぶったせいか、赤さびは付いていましたが、でも、すごく切れそうでした。

女主人のEさんは、憔悴した表情で店の後片付けをしていました。A会長さん「Dさん、残念だった...」。Eさんのご主人のDさんは、3月11日に店で溺れて亡くなったとのことでした。「(Eさん) 津波くるみたいだよって言ったから、ここは大丈夫だべ。ま、シャッター閉めてから行くから、先に上がって避難してろ」って言って。でも、その後すぐに、津波が来て...」「(稲葉) え、ご主人はどこで?」「(Eさん) ここで。この店に残ってて、だめだったの。私はその階段から登って上に上がって...」「(稲葉) そうでしたか...。ショックですね...」「(Eさん) これも運命だろうと思って、あきらめてる...」「(稲葉) もぎりのナイフ、ありがとうございます。買って良かったです。牡鹿半島の侍浜の漁師さんたちからのリクエストだったのですが、東京ではどこでも見つけられなかったのです。侍浜の漁師さん、とっても喜ぶと思う。Eさん、僕ら浜町の3丁目で物資の支給で、A会長にアレンジしてもらって、毎月1回、来てました。Eさん、何か、必要ありますか。今回は野菜とか、果物とか、夏服とか、長靴とか、スコップとか持ってきましたが...」「(Eさん) 野菜とか、果物とかいいね。

私、買いますから」「(稲葉) いいえ。これは私たちからのお見舞いですから、プレゼントさせてください。ほかになべとかもあります」「(Eさん) なべはいいです。うちは金物屋でなべは売れるほど、たくさんあるので(笑)」「(稲葉) そうでしたね(〃)。では、野菜とか持ってきますので少し、お待ちください」。それで、待機してくれていたトラックの勇二さんや松岡さんが手伝ってくれて、メロンやすいか、白菜、ねぎ、にんじん、かぼちゃほかをダンボールに詰めて持っていきました。「(Eさん) わ、メロン。わ、白菜もほしかった。これはすごい。これ、買わせてください。(といて3000円ぐらい出して) ぜひ!」「(稲葉) いいえ。それは大丈夫です。お金は受け取れないです。これは全国のクリスチャンたちから送られてきた義捐金で、購入したりしています。だから、クリスチャンからの、せめてもの気持ちだと思って、そのまま受け取ってくだされば、とてもうれしいです。町内のほかの皆さんにも、そんなメッセージと共に、渡させていただいています。もし良かったら、ぜひ、そうさせてください」「(Eさん) わかりました。そのお気持ち、本当にありがとうございます」ということで、受け取ってくれました。箱づめてくれた「もぎりナイフ」9丁(1本3000円)もばっちり。「(稲葉) これは探しに探していたナイフでした。きっと侍浜の漁師さん、喜ばれると思う。また、来させていただこうかと思っています。また、よろしくお願いします」。Eさんも、少し笑顔で送り出してくれました。神様を讃えました。A会長は、「ありがとう。その一言に尽きます。ぜひ、良かったら、また来てください」とのことでした。

仮設住宅

午後は、新しい仮設住宅への備品の配布。暑かったですが、25人が釜石市の人々と心合わせ、汗だくで取り組み、担当の方は、「今日は夜までかかるだろうと思った作業が、午後2時30分前に終わりました!」。それで、帰り道に、気仙沼や、以前は通行止めになっていた気仙沼→南三陸の国道沿いの惨状を取材・社会見学させつつ帰ることができました。そのあたりは、市の中心部と違って、まだまだ、復旧・復興が手つかずの状況で、心が痛みました。

牡鹿半島へ

— キリシタン・支倉常長、出帆の町

3日目は、これまで、がれきやヘドロ処理をさせていただいていた石巻のT水産のTさん親子の案内で、牡鹿半島の侍浜の港を訪ねました。途中、Tさんはマイクロバスに乗って、道案内。僕たちがクリスチャンと思って、キリシタンの歴史を丁寧に解説してくれ、うれしかったです。「ここはね、支倉常長がサン・ファン・パウティスタ号でスペインやローマに向かった月浦ですよ」「(稲葉) 彼が帰ってくる前にキリシタン禁令になったのですよね」「(Tさん) そう、彼は失意の中、帰国して2年後に亡くなったのです」「(稲葉、バスの中のメンバーへ) みんな、高橋さんが支倉常長について解説してくれたよ。ここは、..」

11世帯の漁師の浜辺

侍浜は、11世帯の漁師さんたちの小さな入り江の集落です。最初に、物資の補給を行いました。いつもの物資も好評ですが、今回、1.5トンあまりの夏服がとりわけヒットしました。浜の奥さんたちに大好評で、何度も、家と浜辺を行き来して、2-3時間ぐらいいて、合う服とか探されていきます。「何か、徐々にショッピングしてるみたい」。その内、服をたたんだり、サイズ分けを手伝ってくれたりします。浜のがれき処理をしているお父さんたちは、奥さんたちが幸せそうにしているのを見て、また、うれしそうな顔になります。

何人かの女性たちを物資補給に残し、チームは並行して壊れた港のがれきの処理をしました。震災後3ヶ月、手つかずだった港です。今回でチアサポートが4回目となった堀井卓さんいわく、「4月上旬の石巻のTさんと同じだ。最初、浜の漁師さんたち、ほとんど仕事が進まず、動きがスローだった。でも、チアのみんながてきばき動いたら、漁師さんたち、だんだん、元気になって力が出てきたって感じだった」。漁師さんたちは、船も港も心にも大きなダメージを受け、最初は、頭で動くべきとわかっている、体が動かなかったのだと思います。

津波で柱ごとつぶされ、屋根が地面に残った水揚げセンター、その瓦運びを一緒にしてた若い漁師のBさん(27)は言いました。「(Bさん) うれしいなー。子どもと話したのは3ヶ月ぶりだ。顔見てるだけで、うれしく励まされるね。よく来てくれた。よく働いてくれるし、こうして話ができ、とてもうれしい」。Bさんは、2000万円の船を流され、漁師の継続を断念、仙台に行って、サラリーマンになることを決めたとの失意の中でした。「(Bさん) 今日のはうれしい。とてもうれしい」。チアの子どもたちもよく働き、漁師さんから、とても、かわいがられていました。「復興がすんだら、海につれていくから、必ず来なさいよ。海は大きくて、きれいだよ」とは、漁師のCさん。

小さな池のような水槽に、ヘドロやがれきが海水と一緒に満杯に詰まっていた。それをスコップでかき上げると、米袋のようなビニールの中にホタテの貝殻がぎっしり詰まり、それにヘドロが混じり、くさっている重い袋がい



続ヘドロかき—牡鹿半島、ホタテと牡蠣の侍浜にて

くつも出てきました。とても重く、2人がかりで水槽から引き上げると、ビニールが一部破れ、貝殻の束がばらまかれそうになったので抱きかかえました。その時の臭いは強烈で、吐きそうになりました。

「(稲葉) うわー。5月の石巻のヘド口は、僕はぜんぜん、大丈夫だった。でも、これ、すごいなー」「(Dくん) そうですか？僕は石巻は吐きそうだったけど、これ、全然、大丈夫。慣れましたよ」「(稲葉) そうかー。たいしたもんだなー」

侍浜は、かきやほたての養殖が中心で、漁場は壊滅状況。「2-3年は収入ゼロだと思う、、、」とのことでした。釜石のC漁具店から入手したもぎりナイフを渡すと、「これ、これ」「これ、最高だ」「漁具は全部、流されたから。何にも無かった。これ必要だった！」と皆、喜んでくれました。崩壊した漁具置き場の壁はがしや、絡まった漁網を切つての後片付け。

半日が過ぎ、石巻のTさんが、「そろそろ、片付けて」。港の地盤が1メートル近く下がり、満潮時には、岸壁が水没するのだそうです。それを聞き、大急ぎで、衣類等をトラックに積みました。

その頃には、私たち20数人と漁師さん10数人で片付けた水揚げ場や漁具置き場も、少し整然としていました。漁師さんたちは「今日、1日で半月分の仕事ができた」「んだなー。すげーなー」と喜んでくれてました。最後は、漁師さんたちが1列になってみんなと握手してくれました。人に仕え、役に立つことは、うれしいことだと改め

て思いました。聖書が言うとおりです。

「あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、みなに仕える者となりなさい。…人の子が来たのは、仕えられるためではなく、かえて仕えるためであり、また、多くの人のための購いの代価として、自分の命を与えるためであるのと同じです」(マタイ 20:24, 28)

お役所の壁の再確認ー南三陸町にて

帰り道、昨日、気仙沼側からは不通で行けなかった、南三陸町の防災センターと壊滅状況の町へ行きました。女性職員はじめ、30名あまりの町職員の方々が、津波の到来を町内放送で呼びかけたりしている内に、犠牲となった場所です。そして、高台にある避難所に行ってみました。公設の避難所は、チア東北では、第2回以降、避けてきたところでした。第一回で8ヶ所ぐらいまわったとき、7ヶ所ぐらいは、とても対応がお役所的だなーと感じ、また、物資もいろいろな人々が助け、比較的届いている状況か、あるいは、ただ物資を送り届けて去ってだけで、特に交わり等、与えられないしきりだったので、他に任せていいかなと思いました。

1ヶ所、お寺で地域の方が運営していたところは物資が足りず、皆さん、大歓迎という感じで迎えてくれましたが、、、

その後、公設のところではなく、昼間、後片付け等している被災者の家々に、飛び込みで接した時、心のつながりというか、絆が育まれる感じでした。それで、チアとしては、ほかのボランティア団体や教会、行政等も手が届いていない、忘れられたような人々に飛び込んでいって、ノックしてみようと思われていきました。でも、3ヶ月たって、状況がどうなっているか、もう一度、公設の避難所を訪ねてみたいと思ったのでした。

役場のFさんと自治会長のEさんが対応してくれました。持ってきた野菜や洗面道具、洗剤等はすごい不足しているとのことで、喜んで、受け取られました。後は、夏服について、1時間あまりもすったもんだすることとなりました。自治会長さんは、「これは、みんなほしい、ぜひ、みんなに紹介して持って行ってほしい」。すると町役場の方は「ちょうど、今日の会議で、各避難所が、個々に服等の物資の受け取りをするのは禁止、町のセンターに全部、集結して、そこにほしい人は取りに行くようにと決まったばかりだから、許可できない。センターは6時で閉まったけど」とのこと。「(Eさん) それはおかしい。みんな車も何も流されて、センターに取りに行けない。夏服は持ってないからほしい。役場の人が持ってきてくれるのはわずかだ。ここに、差し上げたいとわざわざ持ってきてくれる人がいるのになぜ?」「(役場の方) それはわかるが、決まりは決まり。自分としてはこれ以上動けない」「(稲葉) 僕たちは、残念ながら、今夜は3時間かけて、仙台に戻らねばならない。明日は、若林区でボランティアして東京に帰る予定。今夜は、町のセンターも閉まっている。つまり、明日、また仙台から北上して来ない限り、被災者の皆さんが必要だと言われる夏服は、用いもらえなくなるが、、。誰か、悪い人が来て、勝手に置いていったとしたら、いいのでは?あるいはEさんの友達がEさんに個人的にプレゼントして、Eさんが個人的に配って歩いたと、、」「(役場の方) そこは



釜石のもぎりのナイフ、牡鹿半島侍浜で用いられた！

微妙ですね。そこは上司に確認したいけど、今夜は、もう何とも言えません」「(Gさん) 今日ではもう夜7時すぎて、ここは先に帰られては?」。チアのチームから男性5人も加わっていました。なぜ、ここに必要な人と、渡したい人がいるのに、渡せないのか、話し合いが続ききました。日頃、物静かなHさんらも、矛盾点について、しっかり発言し、すごいな—と思いました。途中、Eさんと町のFさん、少し口論のようになりました。「(稲葉) もちろん、役場の皆さんも一生懸命やったださっている。さっきEさんも、Fさんのおかげでずいぶん、助けられてるし、Fさんいなければ、みんなここまでやっていけない」って言うていたよ。そのFさんの立場を悪くしたくないって立場もよくわかるし。Fさんも一方で、被災者の皆さんのニーズも今の状況もわかっておられる。Fさん自身も家をすっかり流された被災者なんだし。会議は会議でわかるけど、被災者の皆さんのいのちと生活を守るための会議なんだろうし、そこは、いのちと生活と必要を優先してご判断としないのだろうか」「(Fさん) うーん。明日また会議あるから、たとえば被災者が知人からもらった物を他の人に配るケースはどうするか聞いてみます」ということで、明確な結論は出ず、僕たちも、夏服は持って帰ることにしました。Eさんと電話番号を交換し、明日は道が開かれるかな—と思いつつ、帰りのバスでチームに結果を報告。世の中には、様々な不条理もあり、お役所仕事もあること。このような震災の最先端でも、もちろん、そのような会議結果となるためには、いくつか理由があるにせよ。「パライサイ人のパン種に気をつけなさい」と、いのちよりも、様々な律法を守ることに汲々として最後にイエス様を十字架に架けた事実について思いを巡らす夜ともなりました。

漬け物食べて行きなさい—仙台市若林区

4日目は、仙台市若林区のE材木工場へ。ここも復旧は遅れていて、前回、ダンプ等、がれき処理車以外は、入れないと警察から止められたところ。でも、粘って、物資補給車両ですと話し、特別に了承を得て、入れたところ。その時、出会ったE社長とアレンジして、地域の皆さんが集まってくれていました。今回、夏服を持っていったのが、ここでも人気。お母さん方が、ショッピング気分が長くおられたり、3度、4度と取りに戻ってきたりで、チームのメンバーとの会話の機会がずいぶん与えられました。

桑谷美穂スタッフは、「家に来て、漬け物食べていきなさい」と奥さん方に誘われて、いい交わりの時を持ったようです。実際に出てきたのは、おだんご。「(桑谷) これ、もったいないです」「(Hさん) いいのよ。これが私たちの楽しみなんだから。今、こういうのしか、楽しみないの。食べて」「(桑谷) いただきます」「(Iさん) どうしてこうして来てくれたの」「(桑谷) 私たち、クリスチャンの団体で、…」

支援物資場に来てくださったさん「こうした支援グループが来たのは初めてだったので、とってもうれしい」。皆さんに呼びかけてくださったEさんは、「今は、まだ、大型のがれき処理中で、ガスボンベとかあるから、ボランティアはまだ入れない段階だけど、次は、ぜひアレンジするので、また、来てもらえたら感謝です。でも、偉いと思う。これ、自分たちが逆の立場だったら、できねーな—」

と話されてました。

再び、南三陸へ

— 良い判断だったのだろうか？

このように喜ばれ、チーム全体が上機嫌でした。本当はこのまま、東京へ帰る予定でしたが、その後、私たちは、進路を北に取り、再び、南三陸をめざすことに決めました。昨日の避難所でのことがあり、朝、松岡さんら4トントラックチームに早朝に出発してもらい、仙台郊外の国際飢餓対策の倉庫に寄ってもらったのでした。「もう一度、南三陸に行くべきかどうか、…。昨日出会ったEさんとの絆を深めたい。神様、なにかの理由で、出会いを与えてくれたのでは? でも、また行くとしたら、彼らが、ぜひほしいと言っている野菜等のお土産が武器になるだろう。昨日、かなりあげちゃったし、これから若林区に持っていく必要もあるからチアにはない。国際飢餓で補充できるかどうか、そこで判断しよう」と祈っていました。国際飢餓では、野菜等はあるときはあるし、無いときはありません。祈っていると、松岡さんからの電話で、「稲葉さん、すごいです。夏みかん1000個とキャベツ300キロもらいました。早く着きすぎて、待ってたら、トラックが着いて、手伝ってたら、さらに夏みかんトラックやキャベツトラックが来て。これ、チアで持っていいということになりました!」「(稲葉) わー、すごい!」

それで、昨日の自治会長のEさんに電話して「夏みかん1000個とキャベツ300キロと昨日の夏服、必要ですか。必要であれば北上していくし、必要なければ若林区やこちらの地域で配って、東京に戻ります」「(Eさん) ぜひ、ほしいです。お願いします」ということで、再び、南三陸をめざすことにしたのでした。

すでに大人用の夏服は無くなっていて、ダニエル・ファンガー明泉学園長に電話して、補充することも許可してもらいました。若林区で少し配ったので減ったものの、夏みかん800個とキャベツ250キロと大人用の服、30箱分が与えられて、一路、南三陸へ。

結論を先に言うと、非常にがっかりする結果が待ちました。Eさんが、被災者の一時金の支払いの関係で、銀行の人と話したり、中学校とかでお礼のスピーチをすることで約1時間半待たされました。夏みかんを少し離れた避難所の倉庫に持って行ってもらうかもしれない。道が狭いので、先に来ていた物資の大型トラックがすれ違えないので、帰るのを待ってほしいとさらに45分待ち。その倉庫を見て、あぜんとしてしまいました。なんと、中規模のスーパーを思わせるような、ありとあらゆる全国からの支援物資がきれいに整えられて山のように置かれているではありませんか。これは何なんだろう? おそらく、町のセンターに夏服を持っていったら、おそらく、山のように積まれて、Eさんが言うとおりの、必要とされる人の手に渡らずに、終わるのかな、…。

その後、避難所の方に夏みかんやキャベツを、皆で運びました。あの山のような支援物資を、みんなが見ないことになって良かったと思いました。服は結局、避難所では渡せないということで、Eさんが個人的にほしい服や、被災者の仲間に配る服を探して段ボール1箱ぐらい減っただ

け。なにか、非常にショックでした。ここに来るまで費やした時間は、途中、明泉等に行った時間含めて、約3時間。避難所で費やした時間は、3時間。そこから2時間飛ばして仙台、そして東京までは5時間かかるので、到着は夜12時過ぎになります。

皆、さすがに疲れてきます。若林区の後のさわやかな盛り上がりとは違う雰囲気。バスの中で、皆で今回の件について話しました。卓さんが「チアのいいところは、既存の枠組みや団体を使わないところだった。今回、そのことを神様、改めて教えてくれたのでは。まったく、誰も行っていないところに行く。飛び込みは、断られることもあり、いやな思いをすることもあるし労力必要だから大変。だからみんな、それをやらない。でも、それをして与えられた出会いで、やはり、すごい深い絆が与えられていった。でも、今回のように、全国のメディアの注目を浴び、役所が仕切っている避難所とかは、まったく違った。チアの、誰も行かないところに行くスピリットの大切さを示される」。確かに、その通り。卓さんは第1回から、ずっと一緒なので、その歩みをわかっています。ほとんど、飛び込みの連続で、ひやひやと祈りだけだけど、神様の恵みで、すごい出会いやボランティアが毎回、待っていてくれました。続いて桑谷美穂スタッフ「これでストーリーは終わらない、私はそのように感じます。今回、願ったとおりにはならなかったけど、神様、ここからストーリーを始めるのでは」。なるほど。確かに、それもそうだと、とても励まされる思いがしました。それにしても、今回、僕は、判断ミスをしたのではと自責の念が出てきました。

雨の中、トイレ休憩も削りながら、東北道を爆走したものの、終電が無くなるということで、まず大宮で何人か下車。そして東京に着いたのは、12時すぎ。そこから、雨の中、残った子ども服らをチアの女子寮に運ぶ仕事。これがすごい量で、大変。あるメンバーは、疲れて顔色が青くなっていました。チアの女子寮は、その服の山で足の踏み場も無い状態。これ、どうやって片付けるのだろうか？ この服を生かすことができるのだろうか？ それから、堀井洋二さんの家に行って、車庫に鍋セット等を山積みする作業。これも大変で、最後にチアの事務局に戻り、4トントラックの駐車完了したのは午前3時になってしまいました。若林区で帰っていたら、皆、るんるん気分、夕方に到着。これまで同様、「神様、ハレルヤ！ 楽しかったー」と帰れたのに。南三陸行きを決断したために、皆、泥のように疲れて、ずぶぬれになっての帰京。何人かは終電に間に合わず、山のような子ども服に埋まった、チアの女子寮で眠る事になりました、、、。山登りのリーダーは、一番、弱い人のことを考えるべきと聞きます。リーダーとして失格だったと思い、非常に寝心地が悪いまま、朝を迎えました。神様のストーリーはここから始まるのだろうか、、、。

続ストーリー…第6回の募集へ

翌日、顔色悪くなっていたティーンが気になり、その後を聞くと、元気に朝からテニスしに行ったと聞いて一安心。また、女子寮の子ども服の山は、一晩過ごした皆さんがさらに残って、対応。数週間後にもスケジュールを組んで、

3日間の合宿で、全サイズごと、きれいに分別してくれたのでした。その結果、第5回東北サポートでは、探しやすいと喜ばれ、大人用はほぼゼロ、子ども用も、ほぼ3分の2が無くなり、残りはカンボジア、ミャンマーへの援助物資として用いられることとなります。そして南三陸で出会った自治会長のEさんからはたびたび、電話をいただく関係になり、第5回で再会。今度は、物資と共に聖書を渡し、喜んで受け取ってくれることにもなります。皆さんに大変な労苦を強いてしまいましたが、おかげで、やはり、ストーリーは続くのでした。このあたり、詳細は次回、お伝えしますね。

その後、アメリカ人ホームスクーラー5人も加えた、第5回が祝福の中に終わりました。娘のエミリは、「生まれてきて、一番、楽しい、すごい夏だった」と言ってくれましたので、早く、皆さんに伝えたいと思っています。とにかく、いろいろと祝福されました。さらに、チア・オリンピック、第6回チア東北、そして白馬の準備をしています。皆さん、お祈りいただければ感謝です。

第6回ですが、仙台市若林区の製材所の社長さん、Eさん宅の古い大きな農家の家の泥かきをリクエストされています。大人30人がかりで3-5日はかかるだろうという広さで、これまでチアで頼まれてきた中で、一番の力仕事です。釜石、陸前高田、大船渡、石巻、若林区、と各地の人々を助けながらであり、いつもは各地に半日~1日の感じで、後は、高スピードで移動するスケジュールで動いてきたので。

第6回でも、初めて、あるいは、久々に参加した人々は、釜石、陸前高田方面にも連れていこうと思っています。そちらの被災者の皆さんからのリクエストもありますので。一方、レギュラーになっている皆さんは、最初から若林区に残り、ベン・ハーの時代のガレー船のごとく、ひたすら泥かきするプランを検討中です。それはそれで、祝福されるのではと思っています。詳しくは16ページで。

最近、LAで、39度のむちを5度も受け、様々な苦難に遭うパウロの話（第二コリント 11：23-30）をベースに、励ましのメッセージを聞きました。苦難は、どんなことにもあるでしょう。鉄道の線路が2本あるごとく、「素晴らしい！」と思うことと「最悪」と思うことと2種類のことが起こるでしょう。でも、神の御手を見て行きましょう。私たちが謙遜である時に神様の力が現れる。「私が弱い時にこそ、私は強いからです」（第二コリント 12：10）とあるとおりです。

自分は弱いですが、神様の強さを見上げて、頼って歩んでいければと思っています。皆さんの祝福を祈っています。

感謝しつつ

稲葉 寛夫

初企画！

どなたでも大歓迎！

国体5回選手（59）も出走！

仙台、茨城からも参加



チア



オリンピック

10月1日（土）

台東リバーサイドスポーツセンター

（浅草線（銀座線・都営線ほか）徒歩12分（隅田川沿い散歩コース）
駐車場、路線バス有り

スカイツリーの見える

全天候型陸上競技場での開催！（雨天決行）

目 的

チア・オリンピックは、日ごろ、合同学習会で体育を担当してくれている藤井一朗さん（九重部屋トレーナー）の提案から始まりました。ちょうど、チア・サポートスクール校長の堀井卓さんから「体育で何か、チアで企画増やせませんか。保護者の皆さんからの一番の要望です」「（稲葉）そうですね。何かやれたらいいですね！」と会話をばかりでした。「基礎体力」の養成はいいことで、また、こうしたことが、子どもたちのスポーツの喜び、体力増強にめざめ、将来に備えるきっかけになると思ったわけです。「それでは、今年、トライアルでやってみましょう！」と、藤井さんに感謝して、Goサイン。その後、スカイツリーのそばの全天候型の陸上競技場が与えられました。ホームスクーラーたちが、本格的な競技場を走る姿を想像するだけで、とてもワクワクしています。

チア・オリンピック。ほかの人との競争というよりは、神様に向かって走る喜び、感謝し、また、将来に備えて、精神力、体力をはかっていければと思っています。また、今回のチア・オリンピックが、参加者全員の未来への良き、きっかけとなるように祈っています。

ロサンゼルスに戻り、ジョセフ（3才）と練習を始めました！（100と200と1500出してみようかな...と。あとは、ソフトボール投げとやり投げと走り幅跳びと、障害物かな...。調整不足で、全部できるかな...。といった感もありますが、今は神様に祈りつつ、前向きに、楽しくチャレンジ！ジョセフも将来、参加できたらいいなと祈っています(^_^) 当日、よろしくお願いします。

参加締切：9月28日まで

出走順等を決めるため、事前登録が必要となります。そのため、お申込みは9月28日（水）とさせていただきます。ぜひお早めにお申込み下さい！



チア・オリンピック精神に流れる聖句

- ですから、私は決勝点がどこかわからないような走り方はしていません。空を打つような拳闘もしてはしません。(第一コリント9：26)
- キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです。(ピリピ3：14)

☆2-4才まで参加の25メートル走
 ☆やり投げ(ジャベリックスロー)、登場予定!
 ☆200メートル走は、参加希望者数で決定!
 ☆賞品あり!(C&Hを応援する方&チア提供)

プログラム

	<午前の部>		<午後の部>
09:00	参加者集合	13:30~50	【大玉転がし】
09:20~	開会式、祈り	13:55~14:35	【ジャベリックスロー】
09:30~	準備体操	14:40~15:00	【障害物競走】
09:45~55	競技開始【玉入れ競争】	15:05~25	【障害物競走】
10:00~20	【50メートル走】	15:30~50	【リレー】
10:20~40	【25メートル走】	16:00	表彰式・閉会式・祈り
10:40~11:00	【100メートル走】	16:30	解散
11:10~12:00	【1500メートル走】 【走り幅跳び】		
	<お昼の部>		
12:00~13:30	昼食・休憩 【ソフトボール投げ】		



- ★2-4才まで参加の25メートル走あります。50メートル走は5-11才まで男女・年齢別、100メートル走は、12才以上男女、年齢別の予定です。
- ★やり投げ（ジャベリックスロー）、登場予定！ジュニアオリンピック用のポリエステル製のターボジャブ（全長70cm、300グラム）を投げる予定です。安全を考え、先がとんがっていないのが特徴です。値段が日本の4分の1なので、アメリカに直接、オーダーしています。洪水の影響で郵送が遅れています。届かないと、来年に延期されますので、お祈りください(-)。
- ★200m走は、参加希望者数で決定！
- ★年齢制限のある種目以外は、参加競技数の制限は無しです。疲れすぎない限り、出走希望を出せます。申し込み人数によっては、参加種目数に制限もありえます。調整等、ご理解ください。
- ★リレーは、各グループ、男女、各年齢別の選抜の予定です。
- ★障害物競争ですが、2-4才は、各障害の数を1、2個とか調整し、5、6歳～大人は半周～1周する方法を考えていますので、全年齢対応可能です。
- ★浅草駅から徒歩12分。駐車場あり（100円/30分。最初の30分は無料）。南千住、秋葉原等からバスあり。詳細はチア・にっぽん事務局、HPまで。

チア・オリンピックスタッフ募集！

浅草駅での会場案内係、記録係（6名同時に計時あり）、ピストル、走順並べ係、1-3位の旗係、用具&賞品準備係、テント張りほか、多数募集中です！ よろしくお願ひします。

参加費

■大人（中学生以上）800円 ■小学生 500円（保険料含む） ■幼稚園以下 300円（保険料含む）

【お振り込み先は下記まで】

■郵便振替 00190-3-35461 チア・にっぽん事務局

■銀行振込 三菱東京UFJ銀行 赤羽駅前支店 1446697 ホームスクーリング・ビジョン（株）

10月1日（土）第1回 チア・オリンピック
 参加申込書 ⇒ FAX 03-6862-8648 メール：office@cheajapan.com

ふりがな 代表者ご氏名	（携帯） お電話
ご住所（〒 ）	
参加費 大人（中学生以上）800円 ×（ ）人 小学生 500円 ×（ ）人 幼稚園以下 300円 ×（ ）人	合計（ ）円
参加者ご氏名&性別&年齢	
ふりがな <input type="checkbox"/> スタッフ希望 男・女 歳	<input type="checkbox"/> スタッフ希望 男・女 歳
ふりがな <input type="checkbox"/> スタッフ希望 男・女 歳	<input type="checkbox"/> スタッフ希望 男・女 歳

第3回 (5/10-13)

チア・東北サポート レポート3

Aさん (16)

「ボランティアに参加して」

今回、5月10日から13日までのボランティアに参加しました。

津波の跡を見て感じたのは、とにかくすごいということでした。何故、神様は、今までにないくらいの津波を日本に起こされたのか、それを考えたとき、主が日本を選ばれたのだと感じました。ここからリバイバルが始まって欲しいと思います。

作業の中で、1日で終わらないはずのヘドロ掃除が終わったとき、それだけで被災者の方々に証になると実感しました。また、作業の背後に神様がいて、大変だったけれども楽しむことができました。その姿を見た被災者の方々が元気をもらったと言って下さり、とても嬉しかったです。

今まで、小中高と学校に通っていましたが、修学旅行などでは、毎回、楽しいけど、何かが足りないという気持ちで帰ってきてました。しかし、今回、クリスチャンの方々と4日間を過ごし、会話の一つ一つの中に神様がいて、とても嬉しく、足りないのは、主がいなかったからだということに気がきました。

また、参加する前は、自分が楽しめる仕事に就きたいと思っていましたが、今回、このボランティアで、主を中心とした、人を助けられる仕事に就きたいと思いました。

この機会を与えてくださった方々、また、主に感謝します。ありがとうございました。



Bさん (14)

僕が今回のボランティアに参加したのは、神様と東北の人々の役に立ちたいと思ったからです。

一日目は、物資を補給してから、東北が今どうなっているのかを知るために陸前高田を視察しました。こんなに家がぐちゃぐちゃに破壊されているとは思ってみませんでした。

二日目は、お世話になった大船渡の教会の隣の庭を掃除しました。とても優しく元気な女性の牧師さんがいろいろとよくしてくれました。その日は釜石市で、持ってきた物資の半分くらいをみんなと配り、5時間くらい皿洗いをしました。

三日目は、朝から物資を2か所で補給しました。今回補給した時は、僕たちも石巻の人たちがどんなものを喜ぶか考えて3つ選ぶことになりました。考えすぎて僕が最後になってしまいました。その後、高橋さんの工場で物資を配らせてもらい、ヘドロを取り除いたり、床下を掃除したりしました。ようやく終わったのは、高橋さんの家に着いてから7時間近く経った夕方でした。高橋さんが本当に感謝してくれて、こっちも

すごうれしくなりました。その後コンビニに夕食を買いに入った時、女子高生たちが「くさーい」と言っていたのですが、僕はあまり気にしませんでした。

4日目は最後の日だったので、お世話になったバスやトラックをみんなで洗いました。その後次のチームのために物資を補給してから帰りました。

このトリップで一番大変だったのは、ヘドロ掃除でした。でもうれしいこともたくさんありました。物資を配った人が喜んでくれたり、高橋さん達が笑ってくれたからです。残念なのは、ビニールの作業着を寝袋と一緒に泊まった場所に置いてきてしまって、一番必要な時になかったことです。マスク、ゴーグル、ビニール製の作業着と手袋、長靴はどんな時も装着したままの方が良かったと思います。僕はまた出来たらこのチアのチームに参加したいと思います。

Cさん

神様はここにいる、人々と一緒に苦しんでいる、そして人々に神の愛という本当に必要なものを届けるために私たちクリスチャンを遣わそうとしている、と強く感じました。ますます人々にキリストにある「希望」を伝える必要があります。

震災直後からチアの力強いレポートを読みつつ、自身の悔い改めを示されながら、現地にいけるようにと祈りました。「泣く人と共に泣き」の個所が与えられましたが、現地の人々のあまりの悲惨さに圧倒されてしまわないか、個別の必要に応えることができるかどうかとの不安もありました。それらは人に仕えようとするところからくる恐れであり、キリストに仕えるように与えられた人や機会のために働こうと覚悟を決めると平安と喜びが後押ししてくれました。実際、キリストに仕えるように人に仕え、キリストを現わしていくという機会が溢れていました。

チームをここまで組織立ててくださり、現地の必要に対して粘り強く柔軟に対応して道を切り開いてくださった先陣の方々に感謝します。また、若い世代に大いに励まされました。時間が経つにつれ要領を得て、ますます力強く喜びを持って仕えている姿に感動しました。ご家庭でよく訓練されている上に、チームならではの団結力が加わって、本当に素晴らしい働きでした。被災地の方々にもその熱意は伝わったことでしょう。一方、体力では劣るかもしれませんが私を含む中年世代や女性でも、現地の方々との会話、気候や状況に対しての気配りなど、できるフォローもあります。一人でも多くのクリスチャンの足が東北に向かうよう祈ります。

心の一部を東北に置いてきました。より一層祈り、関わっていきたいと思います。ニュースや新聞での記事を見かける度、被災地の空気と匂い、人々の痛みや悲しみ、その中であつても主が与えてくださった貴重

でかけがえのない触れ合いが思い起こされます。

Dさん (14)

今回ボランティアに行こうと思ったのは、被災した地域をテレビや新聞ではなく自分の目で見て、確かめたかったっていうのと、被災された方々の気持ちを少しでも実感し、助けになり、神様の栄光をあらわして少しでもイエス様のことを伝えたいと思って、行くことに決めました。でも、正直なところ自衛隊またボランティアチーム、それに海外からも、被災地に行つてボランティアをしていて、もう震災から二ヶ月がたっているのに、自分たちには仕事はないんじゃないかと思っていました。

出発の日、大量の支援物資をトラックに積んで、合計23名でバスに乗って被災地に行きました。最初仙台に入ったときには、被害はたいしたことなかったけど、だんだん被害がひどくなってきて、家の二階部分がないところや、全壊しているところ、また、瓦礫の山などを見ました。瓦礫が積んであるところを見ていると小さい男の子の靴や小さい女の子の服があつたのを見て、とても悲しい気持ちになり、本当に少しですが被災された方々の気持ちを実感できた気がしました。

それから、被災を受けた家に行きました。たとえば、池にたつぷりと溜まったとても臭いヘドロを、ヘドロにまみれながらかき出す作業や、ヘドロにまみれた食器洗いや、庭や家の中にあるヘドロをかき集めるとか、たくさんヘドロの仕事がありました。必要がまだまだたくさんあるということがわかりました。

今回一回で終わるのではなく、継続していきたいと思っています。



似合うかしら (仙台・若林区にて)

第6回 チア・東北サポートチーム メンバー募集（おそらく今年最後のサポートです）

苦難の人々からの力仕事のリクエストに対応のため、募集定員枠35人に拡大！ 低年齢や女性でもできる仕事！ ぜひ、応募ください！

第6回ですが、仙台市若林区の製材所の社長さん、Aさん宅の古い大きな農家の家の泥かき等をリクエストされています。30人がかりで3-5日はかかるだろうという広さで、これまでチアで頼まれてきた中で、一番の力仕事です。第5回では、近隣の家からも頼まれ、今回、その可能性もあります。これまで約25人で動いていましたが、その枠を超える新しいチャレンジです。最終日は仙台市で約2時間、前回、好評の戸別トラクト配布の予定です。

☆ 初参加の方、久々の方は、釜石方面にも向かいます

今回、初めて、あるいは、久々に参加した人々は、これまでのコース、釜石、陸前高田、大船渡方面にも行こうと思っています。そちらの被災者の皆さんからのリクエストもあり、また、全体像や、最新の状況を見るのも大事と思っています。

☆ レギュラー陣、希望者は、ひたすら泥かき

レギュラーになっている皆さん（男性）や希望者は、最初から若林区に向かい、人力で漕がれるベン・ハーの時代のガレー船のごとく、ひたすら泥かきするプランを検討中です。それはそれで、祝福されるのではと思っています。

☆ 仕事内容はご婦人、中学生でも大丈夫！

仕事は、小さくてもできる内容です。基本的に床下の泥を、シャベルで救って、麻袋に入れる仕事です。シャベル役と麻袋を開ける役の2人でやります。シャベル役は、長時間やるには、体力が必要です。でも、泥を入れる麻袋を押さえる役は、ご婦人でもできるので、力持ちでなくても、小さくても戦力になると思います。長袖、長ズボン、鉄製の中敷きがあれば、危険性はほぼありません。鉄製の中敷きや防塵マスクは、チアで提供する予定です。

☆ 手伝う家：10億円の機材を失い、従業員も3分の1に減員する苦境の中で、、、

Aさん（70代でしょうか）は、まったくのノンクリスチャンで、家や庭には神棚とか、いろいろある方です。4月初旬、出会って以来、今まで毎回、製材所の材木置き場を提供してくれ、被災者の人々に物資補給をするときや、泥かきの家とか、事務所の

泥の清掃とかを行う拠点となってくれ、前回は聖書も受け取ってくれました。今回、ご自分の家も依頼できるかと、リクエストされました。従業員の方が言うておられましたが、Aさんは、今回の津波で総額10億円あまりの機械を失い、事業を前のように起こすには、5億円は必要ということで、25名いたスタッフを8名に解雇し、今も苦境の中にある方です。

☆ 場所は、多くの遺体が寄せた名取川堤防の近く

場所は名取川の土手の近くで、ゆりあげ地区等から数百体もの遺体が流れ着き、向かいのAさんのいとこさんが、3月11日の夜、「人々が泣き叫ぶ地獄図絵の中、20数名、ボートを手でこいで助けた」とか、Aさんの庭で、遺体捜索の自衛隊が引き揚げた後の最近でも、さらに2人の遺体が、発見されたとかの地域です。

大仕事を頼まれたものの、白馬の準備やマガジン、NLほかで事務局も大変なので、一時は、今回、止めようかと思いましたが。でも、このように、心開き、リクエストしてくれる関係も与えられていることに、何か神様の意味と計画もあるのかなと思いました。また決断して、少し努力重ねれば、行ける環境が与えられていることは感謝の特権と思いました。当初計画よりも2週間ずらしての実施にAさんも同意してくれました。

☆ 聖書で示されること

ルカの4章18-27節にあるように、私たちは、貧しい人、しいたげられた人、あるいはエリヤやエリシャのように意外な人や異邦人のもとに遣わされているのかな、、、と思い、感謝して、挑戦することにしました。

募集枠は、今回は35名に増枠して募集してみようとは思っています。でも、どうなるかは神様のみぞ知る状況です。これまでは、少人数で動きたく、25名募集で行ってきましたが、幸い、毎回、定員いっぱいのお申し込みがありました。今回、どれくらい集まるかはわかりません。今、正式募集前ですが、15名くらい名乗り出てくれています。また、ほかに10数名、検討してくださっているチームもあります。この機会、どうぞ、こぞって申し込みください。もちろん、Aさんには、できる範囲で手伝いますと伝えてあるので、完璧に終わらなければならないということではありませんが、、、。新しい挑戦が、どうなるのか、楽しみです。

第6回 チア・東北サポートチーム ボランティア募集！

ヘドロ掃除、壁はがし、仮設住宅ヘルプ、
支援物資配給、ほか、たくさんの必要が待ってます！

【期間】

10月17日（月）— 10月21日（金）

【場所（予定）】

釜石、陸前高田、南三陸、仙台市若林区

【宿泊場所】

未定。バスの可能性もあります

【作業】

民家の掃除・泥かき、廃棄物撤去、支援物資の配給



【定員】

35名 ※定員になりましたら、次回のウェイティング・リストに登録させていただきます。

【参加資格】

参加は原則、高校生以上（保護者同伴の場合、原則14才から可能）。どなたでも大歓迎！ ただし、定員の関係で、LITを誠実・従順な姿勢で体験された皆さん、チア・サポートスクール生の皆さん、優先です。これまでの参加者の皆さんの再応募も歓迎します。作業等に慣れた皆さんは、被災者の人々への貢献度が高くなると思うからです。でも、基本的にオープン企画ですので、初めてでも、ぜひ、お申込みください。大人（女性、高齢者OK）の皆さんの申し込みも、大歓迎です。ある程度、大人の参加者も必要です（参加希望者が多い場合は、チア・メンバーの皆さん、優先です）。こぞってお申込みください。

HPに掲載している同意書にご記入の上、チア事務局に電話(042-318-1807)、Fax (03-6862-8648)、Eメール(office@cheajapan.com)等でお申し込み下さい（同意項目については次頁に掲載）。

【食料】

各自準備です。現地のコンビニ等で買えますが、時間を急ぐ関係で、買えない場合もあります。初日、二日目の朝までの軽食・レトルト、長距離バスの中でのお菓子など必ずお持ちください（お湯、レンジ等は使えるところが多いです。）

【ボランティアの場所】

ガイガーカウンターを持参し、ホットポイントでの作業は避ける予定です。

【その他】

ご質問等、遠慮なくチア事務局まで連絡ください。

【お祈り】

「第6回チア東北サポート」ボランティアへの祝福を、ぜひ、お祈りください。

【場所・時間】

出発：チアにつぼんオフィス 10月17日 7時30分集合 8時出発

解散：チアにつぼんオフィス 10月21日

第6回 チア・東北サポートチーム ボランティア募集！

【同意書】

以下の同意書の項目に同意いただく必要がありますので
よろしくをお願いします。

- 1 明るく、感謝し、優しく、謙遜と尊敬をもった態度で接し、被災者と共に喜び、泣く思いで過ごします。
- 2 参加申込後、参加できなくなった場合は、速やかに連絡します。
- 3 事情により、活動を中止する必要がある事を同意します。
- 4 期間中の自分の行動の全責任は私自身にある事を認めます。この事は親族等の承諾を得ています。また、私自身の病気やけが等の事故、交通事故、盗難ほか不慮の事故、災難等に巻き込まれた場合、私や親族、第三者から主催者への補償の請求は致しません。
- 5 活動中は、全ての人々に愛と尊敬と忍耐と平等と節度をもって接します。
- 6 丁寧な言葉遣いを心がけます。
- 7 華美な服装、また、女性は肌を露出した服装、また、男性は、礼を失した服装等を避けます。動きやすく、汚れてよい服装を着用、現地では、底の厚い靴を履きます。20代以下は、茶髪、ピアス等、男性は長髪（ポニーテール等）を避けます。（第4回の参加者は、期間中に渡した鋼鉄製の中敷きを持参ください。）
- 8 活動の前後には手洗いとうがいを励行し、私自身はもちろん他の人の健康にも留意します。
- 9 活動にあたり、チア・にっぽんの方針や指示に従います。無断外出等は、しません。主催者側から受けた注意、指導は積極的にとらえて、改善することに留意し、その後、主催者により、活動途中での帰宅を指示された時には、自己の交通費負担等で帰宅することに同意します。
- 10 個人のプライバシー保護はもちろん、活動中に知り得た情報は絶対に漏らしません。
- 11 男女交際に気をつけます。
- 12 ボランティア保険に加入します。（手続きはチア事務局が行います。第5回までに加入済みの方はOKです）



【義捐金、受けつけてます】

義捐金募集も同時にさせていただきます。チアとしては、何か目標金額があって、集めてはいません。集まった分だけ、現地の皆さんの最新の必要にあう物資を購入等し、現地の方との交わりやボランティア作業の架け橋として用いさせていただきます。

現地では今、第二ステージに入ったとは言われています。実際は、家族、自宅、家具、船、車、そして、職場（収入源）等を失い、心の面はもちろん、経済的にも、将来への不安を抱えた皆さんとの出会いが圧倒的に多いです。2-3年、収入の見込みゼロと何人もの漁師さんや水産加工業者の皆さんが話してくれました。今回も、聖書の福音のことばが書かれた4トン車に、満載の物資を届けさせていただこうと思っています（途中、補給しつつ3ヶ所で配布の予定です）。私たちの持っていくものは、一時的なサポートであり、微力です。でも、その物資と気持ちの支援もまた、各地で大変、喜ばれて、心の架け橋として大きく用いられることを体験してきました。被災者の皆さんの痛みに寄り添い、共に心を合わせたいとの皆さんの尊い想いや応援のお気持ち、神様の愛と福音を伝えたいお気持ちを、できる限り、効果的に伝えさせていただければと思っています。ボランティア作業と並行しての物資サポートとして、今回は、以下の物資の購入、支出等に用いさせていただく予定です。

【今回、義捐金で購入予定の物資等】

果物、野菜、食糧、栄養ドリンク、カロリーメイト等健康食品、お菓子、下着、作業着、服、ズボン、石けん・シャンプー、スコップ、長靴、一輪車等、支援物資購入費用や支援活動のガソリン代等に用いさせていただきます。お祈りのお気持ちで感謝ですので、ご無理ないように。でも、神様に導かれた皆様は、それも大きな力になりますので、ぜひ、どうぞ、よろしくをお願いします。

【送金先】

- 郵便振替 00190-3-35461 チア・にっぽん事務局
- 銀行振込 三菱東京UFJ銀行 赤羽駅前支店（普） 1446697 ホームスクーリング・ビジョン（株）



東日本大震災から8カ月、今年は白馬に集まろう！

- ◆家族のきずなの回復。そして、教育の原点、聖書に立ちかえる体験
- ◆北欧調リゾートホテルで100種類のバイキング
- ◆11種の温泉
- ◆徹底学習（約50の基調講演・分科会）
- ◆家族・教育の目的、情報、励ましとチャレンジが与えられる！
- ◆家族・チャーチスクール・仲間との一生の思い出！

基調講演者は、エリザベス・スミス (Elizabeth Smith)
HSLDA (ホームスクーリング法律擁護協会) 代表夫人に決定！

エリザベス・スミスさんは4年越しの交渉も成立して5月のコンベンションの基調講演者を引き受けてくださっていました。原発事故で、多くの外国人が日本を脱出して行く中、それをものともせず、「私は行きます。『この時』の招へいに意味があったと思います」と、信仰に基づく決意を伝えてくださいました。同志といえる方です。

「講演予定」

- 「バランスのとれた家庭・夫婦、そしてホームスクーリング - 夫と妻への10のヒント&妻が夫に知ってもらいたい、ホームスクーリングのポイント」
"Balancing Home, Marriage, and Homeschooling"
- 「危機（ストレス）管理と結婚生活を長い目で成功させるために」
"Crisis Management and Marriage for the Long Term",
- 「ホームスクーリング成功への5つの秘訣」 "Five Essential Ingredients to Successful Homeschooling"
- 「子どもたちの魂を訓練する秘訣」 "Training the Soul of a Child"
- 「ティーンをホームスクーリングすべき10の理由」 "Ten Reasons to Homeschool Teens"
- 「ホームスクーリング：霊的なリバイバルか、教育改革か」
"Homeschooling : Spiritual Revival or Education Movement"



★ 早期申込特典！！★
「聖書に基づく教科書」「単行本」等プレゼント

11月5日までのお申込&入金済みの大人の方に、聖書に基づく教科書「聖書6」、「聖書10」、「聖書11」（各2800円）、「リカ1」「リカ2」（2310円）、DVD聖書（日本語字幕版）、単行本「ちょっぴりホームスクーリング考えてます?」「チャーチ&ホームスクーリング入門」（各1680円）、「レガシー」（1980円）の中から、いずれかひとつ、もれなくプレゼント！ このチャンスをお見逃しなく！

以下の3大会 in 白馬に豪華賞品等あり
ーチャーチ&ホームスクーラーを励ましたいという方よりの提供

* 第2回チア・にっぽん杯 絵画コンクール* 「幼稚園部門」新たに開設!

「エントリーできるのは、小学生以上じゃないとだめでしょうか(最近のAさんの電話より)。うれしいことに、そんな声を、昨年来、多数いただきました。そして、今秋、「幼稚園部門」を新設することになりました!

今年も作品のテーマは「聖書」。聖書のどの場面でもOKですので、自由に想像をふくらませて絵画に描いてみてください。表彰・展覧会は、白馬セミナー会場です。入賞者には、チアからの賞状とチア・メンバーからの賞品あり! どなたでも大歓迎です! お待ちしています!

<応募要項>

■テーマ: 聖書のストーリーから題材を取り、自分のイメージを絵画にしてください。

■部門: (1) 幼稚園の部 (2) 小学生の部 (3) 中高生の部 (4) 一般の部

■作品のサイズ: 自由(画材は油彩、水彩、クレヨン、ペン画ほか自由です)

※【下記の項目を作品の裏にご記入頂き、ご応募下さい】

氏名(フリガナ)、住所、学年、年齢、性別、電話番号、絵のタイトル、その絵を描いた理由(100字以内自由)

■応募締切: 11月5日(土)

■送り先: 〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103 チア・にっぽん事務局 「絵画コンクール」係

第5回「グランプリ!大会」開催!

自作のレースカーで競い合うグランプリ大会を、白馬セミナーで開催します!! 白馬でもキットを販売しますので、2日目夜までに完成させての参加もOKです(500円)。参加資格は、今年度制作のレースカーです。

昨年に引き続き、今回も「スピード部門」「美術部門」の2部門で競います。「美術部門」コンテストの郵送受付は11月10日まで。郵送先はチア事務局へ(白馬参加の皆様はご持参ください)。作品は白馬セミナーで展示し、優秀作品は表彰させていただく予定です。あるボランティアのご家族が、グランプリ特設コースを製作してくれました。

レースカーキットは、誰でも作れます。形や色も工夫できます。車軸は差し込むだけなので、トンカチ必要なし。お母さんや小さい子どもたちでもできる楽々セットです。気軽に、こぞってご参加ください! 工作・技術の向上はもちろん、素晴らしい家族の思い出にもなりますよ!

現在、キットの予約申込を受付中です。ご希望の方は、お名前、ご住所、お電話番号、希望個数を明記の上、メール (office@cheajapan.com)、またはFAX (03-6862-8648) までお申込みください。

第6回 チア・にっぽん杯 読書感想文大会 募集中!

良書を読むこと、感想文を書くことは、神さまの栄光を現す力となります。昨年も40作品以上の素晴らしい作品の数々が寄せられました。今年もたくさんのご応募、お待ちしております!

◆対象作品: チア書籍(どれでもOK)、あるいは三浦綾子作品(どれでもOK)

◆部門: (1) 小学生の部(400~1600字) (2) 中高生の部(800~2000字) (3) 一般の部(800~2000字)

◆締切: 11月1日(火)

◆発表・授賞式: 11月17日(木)夜7時 白馬セミナー会場(予定)

◆送り先: 〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103 チア・にっぽん事務局 「読書感想文係」

(※メールでも受け付けています → office@cheajapan.com)

第5回 チア・にっぽん杯 読書感想文 受賞作品

小学生の部 チア・にっぽん最優秀賞
「ヤムイモのもんだいを読んで」
森山 佳音

私は、クリの物語がとても好きになりました。私にいろいろなことを教えてくれたからです。そのことについて書いてみました。

まず、雨がふらず、ヤムイモがかれそうでした。でも、クリスチャンたちが祈って、川から水をくんで畑にまきました。すると、雨がふったのです!! この所を読んで、神様を信じるだけではいけないと思いました。信じて行動するのです。私は、自分の欠点を直して下さいと、神様に祈っていました。でもこの本を読んで、直してもらえるのを待つのではなくて、直す力を与えて下さいと祈って、行動しなければいけないと思いました。祈って行動する。その通りだと思います。

次に、クリの父さんの信こうについてです。父さんは、村の長老たちに、先祖のれいに祈ってからヤムイモを植えろと言われました。そうしなければ、ばつがくると。でも父さんは、落ち着いて、自分は先祖たちに祈るのではなくて、イエス様に祈ってからヤムイモを植えろと言いました。その後も何度か先祖たちに祈

るように言われましたが、決してひるみませんでした。そこを読んだ時、私も同じようにできるだろうかと思いました。今の自分なら、もしかしたら同じ行動を取ることができなかったかもしれません。なぜなら、最近、ディボーションの時間が取れていなかったからです。つまり、神様との関係がぐらついてたのです。このままだと、神様を喜ばすことをわすれてしまいます。とても反省しました。神様は、ちょうど良い時に、私の悪い所をクリの物語を通して教えて下さいました。神様にとても感謝しました。

最後に、ヤムイモがしゅうかくされて、食べた所でも教えられました。村の長老たちは、ヤムイモをしゅうかくできても、きっとにが味がすると言いました。本当にそうでしょうか？ 神様は、神様を喜ばした人にばつを与えることなどしません。祝福を与えて下さいます。だから、クリたちにも祝福を与えて下さいました。神様は、神様のみ心になかった事をした人を祝福し、神様が喜ばれない事をした人に、ばつを与えるというのは、本当なんだな、と感じました。聖書に書いてあることは、すべて本当のことだと、改めて実感しました。神様のすばらしさが良く分かりました。この本を書いて下さった人と、神様に感謝します!!

中学生の部 チア・にっぽん最優秀賞
「いばらの生け垣」を読んで
中島 豊

いばらの生け垣を読みながら、聖書のみことばがたくさん心に入ってきました。特に思ったことは、「神様はずっと私達を愛してくださっている。」と言うことです。

——永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。——エレミヤ31章3節

主人公のジョンには、2度の大きな誘惑がありました。1度目の誘惑は子供の時の事です。生け垣の奥はどのようになっているのか知りたくて、りんごの木の実を食べたくて自分の欲に従い、妹のベルを生け垣の穴に押し込みました。生け垣の奥には深い崖や、沼地があり、ベルの命は一瞬のうちになくなるころでした。でも神様はいばらを使いベルの命を守って下さいました。それでベルの顔はトゲだらけにはなったけど、ベルの命を守るために、神様はいばらを用意され、祝福されたいばらに変えた。という場面が心に残り、感動しました。こんな大きな世界を作り、私達を愛してくださっている方に感謝します!

——私たちが神を愛したのではなく、神が私達を愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。——ヨハネ4章10節

2度目の誘惑は大人になってからの事です。日曜日教会に行こうとしていたジョンは、ウィリアム・クロフトという若い男性に誘惑され、自分の欲に従い、悪の道に

つき進みました。そしてついて行き、だまされ、毒液をプライドと無知のゆえに飲みまくりました。ジョンは帰り道、次の日の朝まで倒れていました。怒りと恥と後悔。驚きと恐怖に襲われ、体中動かず馬車にも足を引かれませんでした。この場面を読んだ時、人間は本当に本当に弱くて神様の力なしには何もできないと思いました。

——わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。——ヨハネ15章5節

——人の目にはまっすぐに見える道がある。その道の終わりは死の道である。——箴言14章12節

——欲がはらむと罪を生み、罪が熟すると死を生みまします。——ヤコブ1章15節

ジョンの罪も、どんな罪も赦すことのできる方は、主イエスキリストです!

——私たちの神に帰れ。豊かに赦してくださるから。——イザヤ55章7節

ジョンがもしも馬車に引かれてなかったら、家に戻らないで、罪を犯し続け、神様から離れていくところでした。それでも神様はそうならなくて、ジョンの足を使えなくするために、馬車を用意し、祝福に変えられたのです! この場面も心に残り感動しました。

神様はどんな事もできると、確信しています! 神様は考えられないほど僕達を愛してくださっています! 本当に本当に本当に本当に本当に本当に僕達を愛してくださっています!

——だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。——コリント5章10節

ハレルヤ!

いなちゃんの

お薦め映画ライブラリー

先月までの63作品の詳細はwww.cheajapan.com 映画ライブラリーコーナーへ

第3弾 全国試写会開催 受付スタート！

アメイジング・グレイス

義をなす業に、苦難と忍耐、次第に神の援軍が・・・史実の強さ、
神さまからの励ましを感じる！

この作品も、すごく励まされますよ。時は18世紀、イギリス。牧師になるか、国会議員を続けるか迷っていたウィリアム・ウィルバーフォースは、「神さま、話したいことがある」「神さま、答えて下さい」…と祈る中で、「奴隷制度禁止」の志しと、道が与えられ、神の力を借りながら20年以上かけて、不可能を可能としていくストーリー。正しいことをしようとしても、なかなかうまくいかないことがありますよね。

でも、神さまに祈りながら、その導きに従い、あきらめないで続けていく時に、神さまが助けをポツリポツリと与え、道を開いていく、史実に沿って描かれたこの物語は、現代の私たちをも励まします。

親友で、後の英国首相、ウィリアム・ピットは「思う存分にやれ！」。奴隷船船長として2万人の命を失ったことへの悔いと苦悩に沈みながら神の恵みに震え、讃美歌「アメイジング・グレイス」を作詞したジョン・ニュートンは、ウィルバーフォースの牧師であり、「見えなかった目が今は、開かれた。真理の時が来ようとしている！」と励まします。ウィルバーフォースは、使命に気づき、誰も疑問を感じなかった奴隷制度の廃止に向けて動きます。

20年越しの展開も、法案は却下され続け、病魔にも襲われます。くじけそうになった時、神は、妻バーバラを送り、励まします。「あなたには情熱がある。それが世界を動かす！」。

監督のマイケル・アブテッド氏（「ナルニア国物語・第3章」、「007/ワールド・イズ・ナット・イナフ」ほか）と約1時間、単独インタビューの時間が与えられました。お父さんは熱心なクリスチャンで、お兄さんは牧師になったそうです。

「(稲葉) 僕自身、この作品を見る度に、とても励まされる。神との対話、信仰面を含め、事実に沿って、しっかりと描かれているところがうれしい。さすが、ドキュメンタリー監督出身ならではの」と思う

「(アブテッド) それはうれしい。単に、奴隷解放というだけでなく、人々は、いろいろなものに縛られている。その鎖を解き放つ、そんな力を得てくれればうれしい」

「(稲葉) 昨日の出来事でも、この映画思い出して、励まされたよ」

「(アブテッド：笑み) それは良かった」



(c)2006 BRISTOL BAY PRODUCTIONS
LLC.ALL RIGHTS RESERVED.

試写会OK 記念特価
定価3,990円のところ

500円引 ↓

3,490円

「チェンジング・レーン」 短気は損気！

今月号の巻頭言関連で、リバイバル紹介。現実味&さわやか感あり。

ちょっとしたアクシデントで、取り返しのつかないことになる現代社会の日常をリアルに描きながら、ハートウォーミングなラストシーンに胸を打たれます。

「怒り」のコントロール、仕事の不正、地位とお金と貧困、プライド、他人への思いやり、そして夫婦・家族との摩擦と赦し、、、「こんな誘惑や危険は、自分にもありうるな」そう思いながら見ました。日頃、思い当たりそうな課題が次々とくるテンポの中で、リアリズムを感じる作品です。アクシデントをきっかけに、「義の道」、「すべてを益と変えられていく道」、「家族との道」を選択するか、どうかの岐路に立ちます。ベン・アフレック、サミュエル・ジャクソンが好演。見終わった後に、さわやか感があり、何回か見たくなる映画です。13才以上であれば、家族でも見て考えられる作品と思います。廉価版が出たのでこれもお薦めの理由の一つです。定価1,500円。



名作映画DVD(書籍)オーダーシート

⇒FAX 03-6862-8648
 メール office@cheajapan.com または郵送

(個人鑑賞用です) (価格はすべて税込)

NEW! 「アメイジング・グレイス」 3,990円 → 特価3,490円 () 枚		
リバイバル「96時間」 1,490円 () 枚	リバイバル「チェンジング レーン」 1,500円 () 枚	
8月紹介「ナルニア国物語3」 4,190円 () 枚	6月紹介「怪盗グルーの月泥棒」 3,360円 () 枚	
◆DVD「ファイアー・ストーム」+書籍「決断する愛」セット		3,990円 () セット
◆「トイストーリー3」 3,360円 () 枚	◆「しあわせの隠れ場所」 1,500円 () 枚	
◆「カーズ」 3,360円 () 枚	◆「ノウイング」 3,990円 () 枚	
◆「カールじいさんの空飛ぶ家」 3,360円 () 枚	◆「ワルキューレ」 3,990円 () 枚	
◆「僕はラジオ」 1,480円 () 枚	◆「プリンス・オブ・エジプト」 1,880円 () 枚	
◆「ライフ・イズ・ビューティフル」 1,890円 () 枚	◆「ダークナイト」 1,500円 () 枚	
◆「路上のソリスト」 1,500円 () 枚	◆書籍「決断する愛」 1,680円 () 冊	
◆「大草原の小さな家シーズン1」 4,980円 () 枚	◆「東京物語」 1,000円 () 枚	
◆「大草原の小さな家シーズン2」 4,980円 () 枚	◆「バットマンピギンズ」 1,500円 () 枚	
◆「大草原の小さな家シーズン3」 4,980円 () 枚	◆「グラン・トリノ」 1,500円 () 枚	
◆「スパイキッズ」 1,890円 () 枚	◆「グレイテスト・ゲーム」 1,500円 () 枚	
◆「スパイキッズ2」 1,890円 () 枚	◆「塩狩峠」 3,129円 () 枚	
◆「天地創造」 1,490円 () 枚	◆「ドリームズ・カム・トゥルー」 1,480円 () 枚	
◆「アイ・アム・レジェンド」 1,500円 () 枚	◆「十戒」 2,480円 () 枚	
◆「サムソンとデリラ」 500円 () 枚	◆「ザ・ウォーカー」 2,940円 () 枚	
◆「若草物語」 500円 () 枚	◆「トゥルーマンショー」 1,500円 () 枚	
◆「偉大な生涯の物語」 1,990円 () 枚	◆「素晴らしき哉、人生」 500円 () 枚	
◆「バグズライフ」 1,890円 () 枚	◆「名犬ラッシー」 500円 () 枚	
◆「ナルニア国物語 第1章」 1,890円 () 枚	◆「クオ・ヴァディス」 500円 () 枚	
◆「炎のランナー」 1,480円 () 枚	◆「聖衣」 500円 () 枚	
◆「フェイスング ザ ジャイアント」 1,480円 () 枚	◆「サイモン パーチ」 1,500円 () 枚	
◆「サウンド オブ ミュージック」 1,890円 () 枚	◆「剣と十字架」 1,990円 () 枚	
◆「パッション」 4,725円 () 枚	◆「ファインディング・ニモ」 1,890円 () 枚	
◆「レ・ミゼラブル」 1,480円 () 枚	◆「Mr. インクレディブル」 1,890円 () 枚	
◆「トイストーリー」 1,890円 () 枚	◆「ベン・ハー」 1,500円 () 枚	
◆「トイストーリー2」 1,890円 () 枚	◆「奇跡の人」 1,990円 () 枚	
◆「スパイダーマンTM (2枚組)」 1,980円 () 枚	◆「RV」 1,480円 () 枚	
◆「スパイダーマンTM2 (2枚組)」 1,980円 () 枚	◆「幸せのちから」 1,980円 () 枚	
◆「スパイダーマンTM3 (2枚組)」 1,980円 () 枚		
合計	枚	円

※5000円未満の注文、または遠隔地の場合、送料(実費)あり。※1万円以上のご購入の場合、代引発送となります。
 ※品切れの際は、少し発送にお時間を頂く可能性があります。また、製造中止の場合、廉価版完売等の場合もありますので、どうぞご了承下さい。

フリガナ お名前	お電話番号
(〒)	
ご住所	

試写会受付中!

「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」に並行して、新作「アメイジング・グレイス」の試写会ライセンス、チアに与えられました! 受付スタート!!

*「アメイジング・グレイス」はまだ、映画館で有料上映中の地域があります。それで、スケジュール調整が必要な場合もあります。でも、積極的にお申込み&トライください。

100週連続1位 (アメリカ・クリスチャン書店)

映画関連本「ファイアー・ストーム 決断する愛-夫婦の危機を救う40日プラン」
SONYピクチャーズとチアとのコラボレーション!

<今年上映した教会よりアップデートシリーズ
NO20: 神戸中央教会・太平洋放送協会
「ファイアー・ストーム」>

・大変良かったです。夫婦生活を重ねていくと、相手の愛や行動が当たり前になる中で、愛とは何かを考えさせられました。(30代 男性)

・楽しく観させていただきました。身につまされる場面も多かったです。他の作品も観てみたいです。(40代 男性)

・無条件で愛することの難しさ。無条件とっていても、その裏で評価される事を望んでいる自分に気づかされました。(30代 男性)

・鑑賞2回目です。前回観てから間があいていますが、この映画で得た感動を忘れて、妻と険悪になることが…。感動だけでなく、み言葉に根付いた生活をしていきたい。妻を学び、学士・修士・博士と取っていけるように…。(30代 男性)

・キリスト教を通しての人と人(パートナーや親子)のつながりの大切さを、とても分かりやすく描いていた映画でした。また、おかしな場面があ

ったりして上映時間の長さもあっという間でした。(30代 男性)

・映画で語られた「パートナーは離れてはいけない。特に火の中では」が印象的でした。

・救いの恵みの深さをさらに教えられました。映画を観るのは2度目ですが、本日は更に感動し、DVDを購入しました。

・時々夫をたてることを忘れがちになる時がありますので、反省を込めて見入りました。(女性)

・神を礼拝しながら待つということが、とても印象的で、心に残りました。目に見えない状況にあっても、主が助け導いてくださることを信じて待ちたいと、励まされました。

・映画に感動し、涙が流れました。自分の罪が分かった時、悔い改めの心が沸き起こり、人ではなく、自分が変わるのだと。

・私の生活の中にはまだ聖書の教えはありません。友人に誘ってもらったのですが、今後少しでも学んでいけたらと思います。

たくさんのお申し込み、ありがとうございます。小規模で大歓迎ですので、ぜひ、お申し込みください! DVDは、ご家庭等、個人的な場所での視聴以外、無許可で集会、教会等における上映会は、禁止されています。でも、「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」「アメイジング・グレイス」については、チア・にっぽんが正式な窓口となって、ソニー・ピクチャーズ社、ハピネットに申請する道が開かれました。「上映&DVD販売会」という名目で許可を得る方法です。主に祝福された素晴らしい機会となると確信しています。

まずは資料をご請求ください。既に実施済みの教会、団体からは多くの感動と祝福のレポートが多数、寄せられています。皆さんの教会でも、3作品からの大いなる福音伝道の業が、拡がっていくことを心から祈らせていただきます。詳細・問い合わせはチア・にっぽんまで(Eメール: kuwatani@cheajapan.com FAX03-6862-8648)。申し込み詳細は、HPでもチェックできます。www.cheajapan.com。お申し込みをお待ちしています!

試写会 「ファイアー・ストーム」「フェイスング」「アメイジング」

感動の声、続々！ 開催してみませんか？

(無料！少人数OK！) お申込みはチャまで！

<今後の予定>

「フェイスング・ザ・ジャイアント」

■9月19日(月・祝) 東京 調布バプテスト・テンプル

「アメイジング・グレイス」

■11月18日(金)(予定・申請中) 長野 白馬セミナー

<開催いただいた教会・団体>

「ファイアー・ストーム」

- 仙台 チア・サマーキャンプ
- 長野 チア・白馬セミナー
- 千葉 おゆみ野教会
- 東京 久我山キリスト教会
- 東京 福生ベテル教会
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ベテル・バプテスト教会
- 静岡 第45回教役者大会(ヤマハリゾート)
- 東京 武蔵野EFC教会
- 静岡 キャンパス・クルセード(ヤマハリゾート)
- 東京 クロスロード・インターナショナル葛西教会
- 滋賀 ジーザス・ハウス守山教会
- 埼玉 ANRCセミナー(ヘリテージ・リゾート)
- 札幌 ICF教会
- 石川 小松ベタニヤ福音教会
- 滋賀 東近江キリスト福音教会
- 静岡 VIP浜松
- 愛知 名古屋グロリアスチャペル
- 茨城 水戸第一聖書バプテスト教会
- 岡山 西大寺キリスト教会
- 北海道 札幌キリスト福音館
- 北海道 札幌キリスト福音館栗沢チャペル
- 千葉 千葉グレイスチャーチ
- 神奈川 横須賀キリスト教会
- チア・コンベンション(関西・東京)
- 岐阜 海津キリスト教会
- 神奈川 青葉台ナザレン教会
- 東京 東京ライトハウスチャーチ
- 大阪 阿倍野キリスト集会
- フォースクエア教団(年次総会)
- 愛知 名古屋グロリアスチャペル(2回目)
- 熊本 有明バイブルチャーチ
- 大阪 JECヒルズチャーチ
- 岐阜 海津キリスト教会(2回目)
- 埼玉 JEA心のオアシスリトリート
- 埼玉 KFG志木キリスト教会
- 神奈川 City Vision Glory Church
- 福井 敦賀自由キリスト教会

- 東京 東京シティチャーチ
- 静岡 インマヌエル綜合伝道団浜松キリスト教会
- 東京 インマヌエル中目黒教会
- 東京 シオン・キリスト教団 蒲田教会
- 宮城 仙台福音自由教会
- 埼玉 Shalome Community Church
- 福岡 博多ニューライフ教会
- 岩手 RIM キャンプ
- 北海道 芽室キリスト教会
- 大阪 大阪クリスチャンセンター
- 福井 敦賀自由キリスト教会
- 宮城 仙台福音自由教会(2回目)
- 群馬 桐生キリスト教会
- 兵庫 神戸中央教会
- 東京 太平洋放送協会
- 千葉 主イエス・キリスト千葉教会
- 東京 久我山キリスト教会
- 東京 調布バプテスト・テンプル
- 兵庫 広畑キリスト教会
- 兵庫 神戸西バプテスト教会
- 北海道 中札内初穂キリスト教会
- 大阪 寝屋川キリスト教会
- 神奈川 藤沢オリーブチャペル
- 兵庫 御影神愛キリスト教会
- 兵庫 伊丹聖書教会

「フェイスング・ザ・ジャイアント」

- 仙台 チア・サマーキャンプ
- 神奈川 Living Water Church
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ANRCセミナー(ヘリテージ・リゾート)
- FCMF(自由クリスチャン伝道団)
- 千葉 市原シャローム教会
- 青森 弘前キリスト集会
- 大阪 JECヒルズチャーチ
- 埼玉 KFG志木キリスト教会
- 神奈川 藤沢オリーブチャペル
- 静岡 インマヌエル綜合伝道団浜松キリスト教会

♪ ボイス&メール ♪ Voice & Mail

小6の娘と一緒に「聖書が教える恋愛講座」を一緒に読み始めています。内容的には、難しいかな?と思いましたが、とてもよい交わりの時になっています。

いろいろと良い部分があるのですが、私が感じていることはなにかとタブーな話題になりがちな性的なことを、雑誌や漫画、ドラマや映画、友人たちからではなく親から一番最初に聞けることの恵みです。これは何にも勝る恵みに思います。

これからいろんなことがあっても 親に恥ずかしながら聞きにこられる下地を作れているように思います。(小学校高学年の子どもの取り巻く環境はもはや私たちの時代とはスピード感が違うので育ててもらったように育てることができないように思います。)

また、ジョシュアが包み隠さずに本で分かち合ってくれるので、私も親としての面子とか考えずに失敗は失敗として話す勇気をもらっています。(もちろん、刺激的になりすぎないようにしていますが)

それに、ジョシュアの本で一番良いのは、神様と聖書が中心なことです。良い結婚のためのHOW TO本ではなく、神様とのディポジションや関係の中で、良い選択をしていくように導かれていることが書かれていてとてもよいです。

娘と本を読んでも「今、男の子に付き合ってたって言われたら、神様はどうしろって思う?」などと具体的な質問をする中で、彼女自身が神様との関係を見つめなおして、朝のディポジションも真剣に向き合っているように感じています。

まずは二人で読み、また数年後に読み返して行きたいなと思います。(きっと彼女の環境も変わると思いますから…) (Aさん)

ホームスクールを始めて7カ月、まだまだ手探り状態の中を歩んでいます。中1の長男は週2回チアサポートスクールにお世話になり、学習面本当に助かってます。

GrapeSEEDを長男、小1の次男、年長の長女の3人でスタートしたのですが、やはり年齢に幅があるので理解力、暗唱力にかなり差が出てしまい、同じレベルを兄弟一緒にやる事にとらわれてた私は、最後は状況維持に疲れてしまいました。下の2人は、GrapeSEED学習を一旦止めさせる結果に。

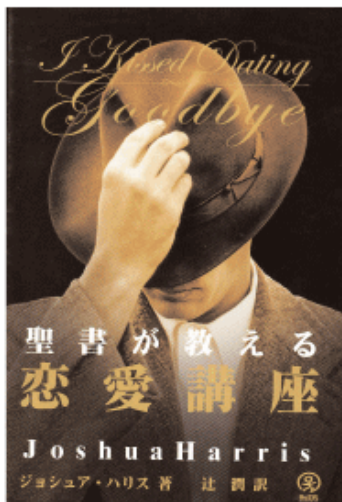
でも英語を何とか身に付けさせたい気持ちはつるばかりで数ヶ月の間、本屋に行っては色々な子供英語教材を買いあさり、子供に試してはがっかりの繰り返し...

ほとんどの教材は読み書き重視で対訳付きでと言った具合で、GrapeSEEDの耳で繰り返し聞いて吸収して話す、赤ちゃんが母語を身に付けるのに近い学習パターンで私を満足させるものは他に探せませんでした。

長男はその間も1人でGrapeSEEDのCDやDVDで楽しんで学習に取り組んでレベルも順調に進む姿に、改めてGrapeSEEDは凄いな〜と痛感。今度はゆっくり焦らずにもう一度やってみようとの下の子達と話し、再スタートしました。色々他の教材を試してる時はあくびばかりしてた2人が、久しぶりにGrapeSEEDを再開した時、楽しかった〜!明日もやりたい!と言ってくれました。

同じ頃GrapeSEEDを学ぶホームスクーラーのネットワークに参加、皆さんから色々アドバイスを頂き感謝でした。これからもチアのスタッフの皆さんと働きが祝福されます様にお祈りしています。

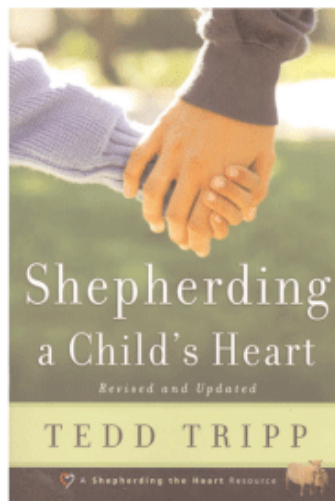
(東京 Bさん)



「デートに”笑って”さよなら!」。男女交際はやめる。適齢期に親も交えて結婚前提を考えられる人と始める…。

大好評につき第4刷に突入
11月15日
販売スタート!
予約受付中

「聖書が教える恋愛講座」
ジョシュア・ハリス著
1680円(税込)



全米でベストセラー。すべての親や教育者、必読の教育良書!

大好評につき第2刷に突入
11月15日
販売スタート!
予約受付中

「聖書が教える親と子のコミュニケーション」
テッド・トリップ著
1680円(税込)

♪ ボイス&メール ♪ Voice & Mail

9月6日午後6時35分、無事に元気な男の子が生まれました。「光の子」ということで、光児(こうじ)と名付けました。体重は3518gでした。母子ともに元気です。(伊藤 仁・ソジョン)



この間のイングリッシュ・キャンプではお世話になりました。また、みなさんとも久しぶりにお会いできて、励まされました。今年は白馬に2年ぶりに参加できたらと思います。今から祈って備えます！(Cさん)

いつも会報を送ってくださりありがとうございます。東北への震災ボランティアに10代の青年たちを送るという活動には敬意を表します。参加した青年たちの感想も、率直でかつイエス様の似姿として献身的に活動された様子がうかがえ、敬服しています。チア・にっぽんの生き活きとした活動に触れることができるので、このニュースレターはいつも一言一句目を通して読んでいるつもりです。今後とも引き続きよろしくお願いいたします。(Eさん)

チルミニでおなじみの“のりさん”こと、岩佐憲宣さん&愛子さんに、2010年3月2日、第5子が誕生しました！名前は「翼」君です。写真は、長男：憲一君(右)とともに。



チア・東北サポートのレポートの証を教会で皆に読んで聞いてもらいました。素晴らしいレポートでした。感動しました。神様と送り出されたご両親、皆様、すごいですね!!(Dさん)

本日、DVD聖書を購入され、それを使って学んでいらっしゃる方からお電話がありました。購入したDVD聖書はご友人の方と、ご家庭での学び&祈り会の時に毎回用いておられるようでした。「聖書の言葉が目と耳の両方から内側に入ってくる、その力はすごいです！」とお話ししてくださいました。(by 能登麻里スタッフ)

GLEEM

第14回(2012春)5カ月ホームステイ in カナダ

カナダの雄大な大自然に囲まれながら英語を学習し、神様との関係も深められると好評のGLEEM留学プログラム。そのほか、スキー、スケート、ロッククライミングなど盛りだくさんのアクティビティや、クリスチャン教育も充実！地元カナダのクリスチャンスクールの生徒さんたちとも交流を持つことができ、さらなる英語の実力がつけられます！

第13回目秋のプログラムに参加中の中村光美さん、江原南さんは元気に過ごしているとのことですよ！どうぞ、祝福をお祈りください。

詳細はチア・にっぽん事務局へ(TEL 042-318-1807、メール:kuwatani@cheajapan.com)。
お申込みはお早めに！

■次回の予定 <2012春のプログラム>予定 出発:2012月1月下旬 帰国:7月初旬

チア・にっぽんカレンダー

- チア・オリンピック
10月1日(土) 9:00~16:30
台東リバーサイドスポーツセンター(東京・台東区)
- 第6回チア東北サポート
10月17日(月)-10月21日(金)
大船渡、石巻、仙台など
- 白馬セミナー ホテル・グリーンプラザ白馬(長野)
11月17日(木)-19日(土)
主講師 エリザベス・スミス 弁護士夫人
- チアにっぽん関東ミニ学習会(予定)
2月3日(金) 10時30分~15時30分
◆国立オリンピック記念青少年総合センター
(代々木 小田急線参宮橋駅7分)

※下記のアンケートに答えて下さり、白馬セミナーにて提出して下さった方には、各1000円の協力謝礼が出るそうです。さらに当日、親子で参加の皆さんには別の謝礼があるそうです。

慶應義塾大学経済学部 赤林・大垣教授から
「世界観の経済行動への影響」研究に
御協力依頼です!

白馬セミナー2011の参加者の皆さんに、私どもの研究への御協力をお願いいたします。アンケートは無記名、お答えいただいた内容は研究目的以外の使用はありません。当日、アンケートを提出くださった方に協力謝礼と、さらに当日の親子でゲーム式実験に参加してくださった方に協力謝礼が出ます。詳細は、白馬セミナー参加者の皆さんに郵送いたします。よろしくお願ひします。



お問い合わせは、慶應義塾大学 大垣研究室

メール: mogaki@econ.keio.ac.jp 電話: 03-5418-6403

赤林英夫 慶應義塾大学経済学部 教授
大垣昌夫 慶應義塾大学経済学部 教授

8月会計	
収入	
献金	1,074,440
書籍・教科書	131,229
会費	103,000
DVD/CD、ビデオ等	94,082
その他	12,873
	1,415,624
支出	
事務局経費	990,904
通信運搬費	119,536
交通費	151,613
DVD仕入れ費	13,650
	1,275,703
残高	139,921
前期繰越	-17,572
翌期繰越	122,349
【義捐金】(9月21日現在)	3,203,788円

☆尊い献金、会費、義捐金の送金を、心から感謝いたします。

「第4回みことば習字コンクール・
絵画・写真作品展」作品大募集!!
(主催: 八丁習字クラブ)

- 展示日時: 2011年10月12日(水)
- 場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター(全応募作品は白馬セミナー会場にも展示)
- *同時開催「ホームスクーラーなんでも発表会」出演者も大募集!!
- 主催: 八丁習字クラブ
- 募集案内等詳細は
afruitfulvine.128@nifty.com
or 090-6178-2840(上原さんまで)
- http://hs-mikotoba.jimdo.com



Cheajapan

チア・にっぽん事務局

〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103

TEL 042-318-1807

メール対応FAX 03-6862-8648

メール office@cheajapan.com

www.cheajapan.com